

東北大学生のための 国際交流ガイドブック

Tohoku University Study Abroad Guidebook 2019

東北大学グローバルリーダー育成プログラム (TGLプログラム)

東北大学の特長である柔軟で強固な「専門基礎力」に加え、国際化する社会において、さまざまな分野でグローバルに活躍するために必須となる「グローバル人材としての能力」(語学力・コミュニケーション力、国際教養力、行動力)をバランスよく身につけることを目指した学部学生対象のプログラムです。

TGLプログラムでグローバルリーダーの認定を目指す場合は、必ず一度は海外研鑽の経験が必要です。本ガイドブック内に掲載されている海外研修(スタディアブロードプログラム/SAP)をはじめとした海外留学プログラムの多くが、TGLポイントの対象となっています。



詳しくは

TGLプログラムパンフレット

及びグローバルラーニングセンターHPを
参照してください。



東北大学グローバルラーニングセンター
(教育・学生支援部留学生課)

〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内41
☎022-795-7820 ✉sab_query@grp.tohoku.ac.jp

www.insc.tohoku.ac.jp



国際交流と 留学のすすめ

Tohoku University Study Abroad
Guidebook 2019



Index

- 03** 東北大学からの留学
大学間学術交流協定校・機関／海外留学プログラム／留学までのロードマップ
- 09** 短期海外研修(SAP/FL)
プログラム概要／実施予定プログラム一覧／体験レポート
- 15** 海外体験プログラム／ショートプログラム
プログラム概要／募集プログラム例／体験レポート
- 17** 交換留学プログラム
プログラム概要／主な派遣先大学&派遣条件等詳細一覧／体験レポート
- 25** 大学院生派遣プログラム
プログラム概要／体験レポート
- 29** 学部・研究科主催のプログラム
プログラム概要／プログラム一覧
- 30** 留学のための各種サポート
留学相談・情報収集／語学学習・試験
- 35** 学内で国際交流
海外からの学生との交流／東北大生による国際交流活動団体
- 37** 国際交流・留学サポート
奨学金情報／学内のサポートオフィス

東北から世界各国に広がる協定校ネットワーク。

東北大学では、数多くの世界トップレベル大学・機関との間に「学生交流協定」を締結し、本学独自のグローバルネットワークを構築しています。グローバルラーニングセンターでは、そのネットワークを活かし、さまざまな海外留学プログラムを展開し、海外で学ぶことができる体制を整えています。

大学間学術交流協定機関

35の国と地域、**229**大学・機関 (2019年1月現在)

欧州地域

フィンランド

アアルト大学
オウル大学
タンペレ大学
トゥルク大学

スウェーデン

ウーメオ大学
スウェーデン王立工科大学
ウプサラ大学
ストックホルム大学
チャルマース工科大学

イギリス

ヨーク大学
シェフィールド大学
イーストアングリア大学

オランダ

グローニンゲン大学
トゥウェンテ大学
デルフト工科大学

イタリア

フィレンツェ大学
トリノ工科大学
ナポリ大学
ペローナ大学
ミラノ工科大学
ベネツィア・カ・フォスカリ大学

スイス

スイス連邦工科大学ローザンヌ校
ジュネーブ大学

オーストリア

ウィーン大学
Ge4 - Global Education: Exchanges for Engineers and Entrepreneurs

スペイン

グラナダ大学
バリアドリッド大学
サラマンカ大学

チェコ

チェコ工科大学プラハ校

ドイツ

アーヘン工科大学
ドルトムント工科大学
ザールラント大学
ダルムシュタット工科大学
ゲッティンゲン大学
ドレスデン工科大学
ベルリン工科大学
ミュンヘン工科大学
カールスルーエ工科大学
カイザースラウテルン工科大学
ハイデルベルク大学
ヨハネスグーテンベルク大学マインツ
パダボーン大学
ケムニッツ工科大学
レーゲンスブルク大学
オルデンブルク大学

フランス

ソルボンヌ大学
レンヌ第1大学
レンヌ第2大学
グルノーブル・アルプ大学連合
ストラスブール大学
ポルドー大学
国立中央理工科学学校 (Ecole Centrale) (5校)
・リール校 ・ナント校
・リヨン校 ・セントラルスピレック
・マルセイユ校

アルビ鉱山大学

リヨン政治学院
リヨン高等師範学校
リヨン第2大学
コンピエンヌ工科大学
サンティエニス国立高等鉱山学校
ポルドー工科大学
国立東洋言語文化研究大学 (INALCO)
パリ第7大学
ロレーヌ大学

ポルトガル

リスボン新大学

中近東地域

トルコ

イスタンブール工科大学
エーゲ大学

イラン

テヘラン大学

NIS地域

ロシア

モスクワ国立大学
ノボシビルスク国立大学
ロシア科学アカデミーシベリア支部
極東連邦大学
ロシア国立高等経済学院 (HSE)
サンクトペテルブルク国立総合大学

ウクライナ

ウクライナ国立工業大学“キエフ工科大学”

アフリカ地域

モロッコ

ムハンマド5世大学-ラバト

南アフリカ共和国

クワズールー・ナタール大学
ヨハネスブルグ大学

北米地域

カナダ

ウォータールー大学
オタワ大学
クイーンズ大学
ブリティッシュ・コロンビア大学

アメリカ

ペンシルベニア州立大学
カリフォルニア大学 (10校)
・バークレー校
・デビス校
・アーヴァイン校
・ロサンゼルス校
・マーセド校
・リバーサイド校
・サンディエゴ校
・サンフランシスコ校
・サンタバーバラ校
・サンタクルス校

ワシントン大学
パデュー大学
アラスカ大学
コロラド鉱山大学
シラキュース大学
国際教育協会 (IIE)
テンブル大学
テキサスA&M大学
ハワイ大学マノア校
ニューヨーク州立大学オールバニー校
ノースカロライナ大学シャーロット校
ケースウェスタンリザーブ大学
ミシガン州立大学
メリーランド大学カレッジパーク校
モンタナ大学
デンバー大学
ベイラー大学
ジョージア工科大学

中南米地域

ベネズエラ

シモン・ボリバル大学

太平洋地域

オーストラリア

シドニー大学
ニューサウスウェールズ大学
オーストラリア国立大学
メルボルン大学
マッコーリー大学

アジア地域

インド

インド工科大学ボンベイ校
インド科学大学

タイ

アジア工科大学院
スラナリー工科大学
キングモンクット工科大学ラカパン校
チュラロンコン大学
タマサート大学
チェンマイ大学
キングモンクット工科大学トンブリ校
泰日工業大学

シンガポール

シンガポール国立大学

インドネシア

インドネシア大学
ガジャマダ大学
バンドン工科大学
ボゴール農科大学
ブラウイジャヤ大学
セブル・ノーベンパー工科大学

韓国

全北大学校
ソウル大学校
光州科学技術院
釜慶大学校
浦項工科大学校
韓国科学技術院
忠南大学校
慶北大学校
嶺南大学校
東義大学校
朝鮮大学校
高麗大学校
国立昌原大学校
西江大学校
延世大学校
国立公州大学校
中央大学校
慶熙大学校
成均館大学校
国民大学校
韓国科学技術研究院

モンゴル

モンゴル科学技術大学

スリランカ

モラトゥワ大学

ベトナム

ベトナム国立大学ハノイ校
貿易大学
ホーチミン市工科大学

中国

東北大学
中国科学技術大学
清華大学
南京大学
北京大学
吉林大学
浙江大学
復旦大学
武漢理工大學
重慶大学
同済大学
中国海洋大学
北京科技大学
南京航空航天大学
厦門大学
華中科技大学
西安交通大学
華東師範大学
北京航空航天大学
蘭州大学
天津大学
大連理工大学
揚州大学
東南大学
上海交通大学
北京工業大学
北京郵電大学
香港科技大学
上海海洋大学
中国地質大学 (武漢)
香港城市大学
東北財経大学
上海大学
西南大学
四川大学

台湾

国立台湾大学
国立中正大学
国立成功大学
国立交通大学
国立中興大学
国立清華大学
国立政治大学
東吳大学
国立中央大学

マレーシア

マラヤ大学

部局間交流協定機関 **60の国と地域、469機関** (2019年1月現在) ※協定機関の詳細はホームページをご覧ください。

学術交流協定機関一覧: 東北大学HP ▶ 国際交流 ▶ 学術交流協定締結校 <http://ie.bureau.tohoku.ac.jp/partners>

※本ガイドブックでは、一部の国・地域について一般的に使われている呼称と旗を慣習に従い使用しています。

学びの目的や期間等、
希望に合わせて選べる
多様な海外研修・
留学プログラムがあります。



短期海外研修(SAP/FL)

▶ P09-14

海外に行くのが初めての方、長期留学をためらっている方、長期留学の前に語学力を強化し、異文化適応能力を身につけておきたい方等、さまざまな要望に応えることができるプログラムです。スタディアブロードプログラム(SAP)では、約3~5週間のプログラム期間内に、語学学習を中心としたさまざまなテーマ学習に参加でき、ファカルティレッドプログラム(FL/教員引率型)では、約2週間のプログラム期間内に、語学を使ったテーマ学習、課題解決型プロジェクト、フィールドワーク等に取り組むことができます。どちらのプログラムも、現地学生や留学生との交流等も盛り込んでおります。学期末の休みを有効に利用した短期間の研修ですので、授業への影響や留年の心配はありません。

派遣地域・大学

アメリカ、カナダ、イギリス、
ドイツ、スペイン、マレーシア、
ベトナム、インドネシア、
オーストラリア、ニュージーランド
等の教育機関

期間

2~5週間(夏・春)

参加対象

全学部・研究科の学生
(学部生優先)

海外体験プログラム/ショートプログラム

▶ P15-16

半年や1年間の留学は難しいという方は、海外体験プログラム、ショートプログラムがおすすめです。言語、異文化体験、イノベーション、持続可能な開発、データサイエンス等協定校が多様なテーマのプログラムを実施しています。すべて協定校主催のため、募集時期はさまざまです。募集期間の短いものが多いので、随時、所属部局やグローバルラーニングセンターのHPで最新情報を確認してください。

派遣地域・大学

大学間学術交流協定校を中心とした
世界各国の大学

期間

海外体験プログラム:2週間程度以上
ショートプログラム:1~8週間程度

参加対象

プログラムにより異なる

大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム

▶ P17-24

短期海外研修等を経験し、より長期間にわたる留学を希望する方や、語学学習だけでなく自身の専門について海外の大学で学びたい方向けの海外留学プログラムです。留学先の大学については、本学と大学間学術交流協定を結ぶ海外の大学から自身の留学の目的及び将来のキャリア設計に応じて希望することができます。現地の学生と共に学び、海外で生活することで、多様な価値観に触れ、日本にいては得ることのできない貴重な経験を積んでください。

派遣地域・大学

35の国と地域229校(▶P03-04)

期間

1学期~1年間

参加対象

全学部・研究科の学生



COLABS(自然科学系短期共同研究留学生交流プログラム)

▶ P25-26

自然科学系の研究科に所属する大学院生(または進学見込みの学部生)で、海外の大学や研究機関で研究を行いたい、海外の研究者との学術的ネットワークを築きたい等、研究を主目的とした海外留学を検討している方向けのプログラムです。留学期間は、最短10日間から、最長1年間までです。大学院での研究スケジュールにあわせて時期や期間、留学先を選ぶことができます。

派遣地域・大学

主に大学間協定機関または部局間協定機関

期間

10日~1年間

参加対象

自然科学系研究科の大学院生
※進学見込みの学部4年生を含む
(6年制課程の学部については5年生以上)

自然科学系研究科

理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、
情報科学研究科、生命科学系研究科、環境科学研究科、医工学研究科

ダブルディグリー(共同教育)プログラム

▶ P27-28

ダブルディグリー(共同教育)プログラムは、フランス、スウェーデン、又は中国のトップクラスの提携校と本学に在籍し、提携校における修士レベルの学位及び本学の修士号の取得を目指すプログラムです。理工系の分野で、国際的環境のもと、研究者としての力や国際性を伸ばすことが期待できます。

派遣地域・大学

フランス 国立中央理工科学校(Ecole Centrale)5校
国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)
スウェーデン スウェーデン王立工科大学
中国 清華大学

期間

1年半程度

参加対象

一部の自然科学系研究科の
博士前期課程に進学予定の学生
(派遣先により派遣時期、対象学部・学科が異なる)

上海交通大学との Fostering of Global Human Resources プログラム

大学院学生を対象とした、中国でもトップクラスの上海交通大学に交換留学又は学位留学するプログラムです。専門知識や研究能力だけでなく、世界の中心となりつつあるアジアにおいて活動する総合的な力の養成が期待できます。本プログラムの参加者には留学期間中、上海交通大学から奨学金が支給されます。

派遣地域・大学

中国 上海交通大学

期間

交換留学:1学期~1年間
学位留学:2~3年

参加対象

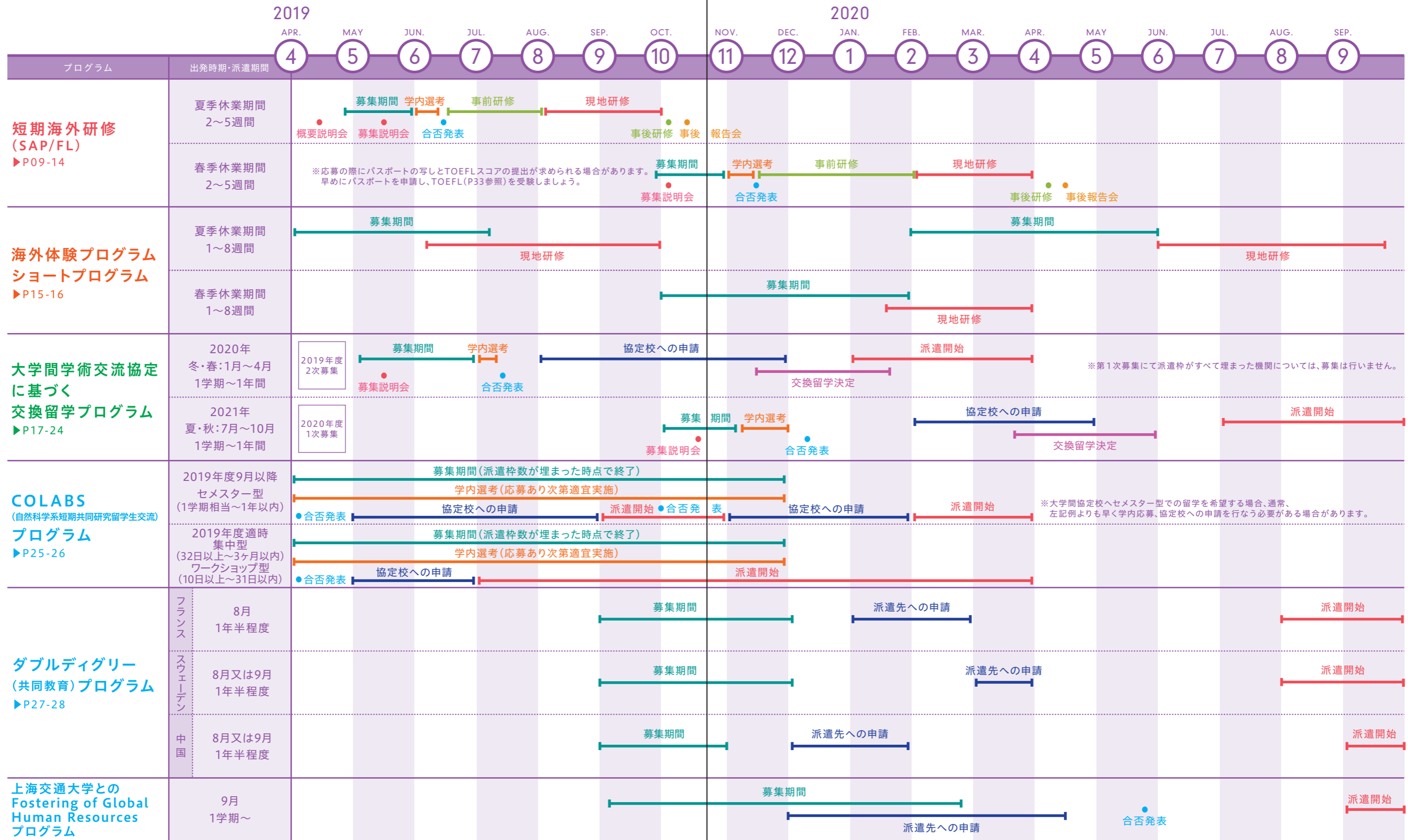
全研究科の大学院生

学部・研究科主催のプログラム

▶ P29

グローバルラーニングセンターが主催するプログラムの他にも、学部・研究科で独自に留学プログラムを実施している場合があります。

希望のプログラムが見つかったら、さっそく準備を始めましょう。



東北大学からの留学
短期海外研修(SAP/FL)
海外体験プログラム
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部研究科主催のプログラム
留学のための各種サポート
学内で国際交流
国際交流・留学サポート

短期海外研修(SAP/FL)

スタディアブロードプログラム(SAP)とファカルティレッドプログラム(FL/教員引率型)は、長期休業(春・夏)を利用して、語学力を磨き、アカデミックスキルを高めることを目的とした海外研修プログラムです。参加学生は、プログラムのテーマに沿った体験学習や、特色ある語学講座に参加し、さまざまな学習の機会を得ることができます。さらに現地学生やコミュニティメンバーとの交流等、日本では得られない貴重な体験を通じて、語学の運用能力を高めるだけでなく、国際的な視野を育むことが期待できます。

奨学金情報

- 月額6～8万円の奨学金(派遣先により異なる)が支給される可能性あり。
- 学部生に限り、1プログラム当たり平均20万円/名のプログラム費の一部を、東北大学が負担。

派遣地域・大学 アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、スペイン、マレーシア、ベトナム、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド等の教育機関

期間 2～5週間(春・夏)

参加対象 全学部・研究科の学生(学部生優先)

2019年度スタディアブロードプログラム(SAP)実施予定プログラム一覧

海外初心者向けプログラム

| プログラム名 | 派遣国・大学 | 期間 | 研修内容 |
|------------------------------------|------------------------|------------|--|
| カリフォルニアで学ぶ多文化・多民族社会 | 【アメリカ】カリフォルニア大学リバーサイド校 | 夏 【3週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●多文化社会が浸透している地域、カリフォルニア・ロサンゼルス近郊のリバーサイドでの研修 ●アメリカにおける「多文化主義」について幅広く、さまざまな視点から学ぶ ●実践的な英語研修及びテーマに関連する場所へのサイトビジットやアクティビティ ●現地学生との豊富な交流活動やホームステイを通じて異文化理解を深める |
| ハワイで学び体験する文化と歴史 | 【アメリカ】ハワイ大学マノア校 | 夏 【3週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●基礎的な英語力を身につけるための講義 ●ハワイの文化や歴史を学ぶためのフィールドトリップや現地学生との交流 ●ホームステイを通じた、ハワイ家庭の生活・文化体験及び英語力の向上 |
| オーストラリアでローカルの学生とチャレンジするプロジェクトと実践英語 | 【オーストラリア】ニューサウスウェールズ大学 | 夏 【5週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●自身のレベルに合ったクラスで、世界各地から集まる学生と共に実践的な英語力を5週間しっかり鍛える ●多様な文化背景を持つ人々の街、シドニーでホームステイ ●現地学生との英語でさまざまなプロジェクトの実施、ローカルの友達が必ずできる! |
| マレーシアで学ぶ英語とマレーシアの歴史・社会・文化 | 【マレーシア】マラヤ大学 | 夏 【3週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●日本及びアジア各地から集まる学生と共に学ぶ実践英語研修 ●多民族国家マレーシアの歴史・社会・文化を学ぶ授業 ●マラヤ大学生との学生寮での共同生活をはじめ、プログラム参加現地学生及び留学生との交流 |

テーマ学習に取り組みたい学生向けプログラム

| プログラム名 | 派遣国・大学 | 期間 | 研修内容 |
|---------------------|------------------|------------|--|
| ベトナムで学ぶ文化と国際ビジネス | 【ベトナム】貿易大学 | 夏 【3週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●ベトナムの社会科学系でトップクラスの大学である貿易大学での研修 ●ベトナムの産業構造や社会問題等について英語で学ぶ ●日系企業訪問や文化体験、世界遺産へのフィールドトリップ |
| インドネシアで挑戦するインターンシップ | 【インドネシア】インドネシア大学 | 春 【4週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●インドネシアの社会やビジネスを英語で学ぶ東北大学生のために開発された研修プログラム ●インドネシア大生と現地日系企業(イオン・インドネシア)での協働インターンシップ ●インドネシアでの生活のための基礎インドネシア語講座 |

実践的な英語力の向上を目指す学生向けプログラム(交換留学準備)

| プログラム名 | 派遣国・大学 | 期間 | 研修内容 |
|-----------------|------------------------|------------|---|
| オーストラリアで学ぶ実践英語 | 【オーストラリア】ニューサウスウェールズ大学 | 春 【5週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●自身のレベルに合ったクラスで、世界各地から集まる学生と共に実践的な英語力を5週間しっかり鍛える ●多様な文化背景を持つ人々の街、シドニーでホームステイ ●現地の学生とのイベントでの交流 |
| ニュージーランドで学ぶ実践英語 | 【ニュージーランド】オークランド大学 | 春 【5週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●自身のレベルに合ったクラスで世界各地から集まる学生と共に学ぶ ●ディスカッションやプレゼンテーション等を取り入れた実践的な英語運用力を強化するプログラム ●オークランド大学の日本語専攻の学生やホームステイ家族等、現地の人たちとの交流 |

| プログラム名 | 派遣国・大学 | 期間 | 研修内容 |
|--------------------------|-------------------------|---------------|---|
| カリフォルニアで学ぶ実践英語 | 【アメリカ】カリフォルニア大学サンディエゴ校 | 春 【4週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●カリフォルニア南部、メキシコに隣接する都市・サンディエゴの名門校での研修 ●自身のレベルに合ったクラスで多国籍の学生と共に学ぶ英語研修 ●現地学生(Conversation Leader)との会話を通じたコミュニケーションスキルの向上 |
| ニューヨークで学ぶ実践英語 | 【アメリカ】ニューヨーク州立大学オールバニー校 | 春 【4週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●ニューヨーク州都、オールバニーにある総合大学付属語学学校で多国籍の学生と共に英語を学ぶ ●東北大生のために開発された授業やホームステイ家族との交流を通してアメリカ文化について学ぶ ●日常的に必要な英語力を強化するための研修 |
| ロッキー山脈の麓コロラド州デンバーで学ぶ実践英語 | 【アメリカ】デンバー大学 | 春 【3週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●ロッキー山脈地域最古の名門校で東北大学生のために開発された研修プログラム ●教室での語学学習+現地サイトでの体験学習で英語のアウトプットスキル(話す・書く)の向上を目指す ●デンバー大学のさまざまな学生(日本語、ビジネス、アントレプレナー、テクノロジー専攻の学生)との交流 |
| カナダで学ぶ英語と文化体験 | 【カナダ】ウオータールー大学 | 夏及び春 【4週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●日常的に必要な英語力を強化するための研修 ●英語イマージョン教育を通じてカナダ文化について学ぶ授業 ●ウオータールー大学の学生やホームステイ家族との交流 |
| イギリスで学ぶ実践英語 | 【イギリス】シェフィールド大学 | 春 【4週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●自身のレベルにあったクラスで4スキル(読む、聞く、書く、話す)を集中して学ぶ英語研修 ●多国籍の学生と共に取り組む授業内及び課外活動での国際交流 ●ホームステイを通じたイギリス生活・文化体験及び英語力向上 |
| イギリスで学ぶ英語と文化 | 【イギリス】ヨーク大学 | 春 【4週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●IELTS受験対策講座と現地でのIELTS受験 ●基礎から実践的なレベルまで高める集中英語研修 ●授業や現地学生とのプロジェクト、ホームステイを通じて将来役立つEmployabilityを伸ばし、イギリスの文化を体験 |

2019年度ファカルティレッドプログラム(FL/教員引率型)実施予定プログラム一覧

| プログラム名 | 派遣国・大学 | 期間 | 研修内容 |
|--|-------------------------|------------|---|
| CHaNGE Summer Program: Canadian Heritage and Nature Group Experience | 【カナダ】マギル大学 他 | 夏 【2週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●モントリオール、オタワ地域でマギル大学及びオタワ大学で歴史、文化、アイデンティティや多様性を英語で学ぶ ●マギル大学、オタワ大学、ウラノス、博物館等で自然環境や気候変動について英語で講義を受ける ●大自然の中で2泊3日動物や植物に触れながら、現地学生と共にフィールドワークを行い、歴史、文化、自然環境を学ぶ |
| アメリカの南部で学ぶサブカルチャーとアイデンティティ | 【アメリカ】ノースカロライナ大学シャーロット校 | 夏 【2週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●研修を通じて、歴史、多文化交流、生活が、アメリカ南部の文化に及ぼした影響を学ぶ ●先住民(インディアン)やアフリカン・アメリカンの文化を体験する ●現地学生、教員との交流を通じて、知識・理解を実践的に深める |
| モンタナで学ぶサステナブルな社会 | 【アメリカ】モンタナ大学 | 夏 【2週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●1000種類以上の動植物が生息する壮大なグレイシャー国立公園やかつての炭鉱でのフィールドワークを通して、モンタナの大自然の中で環境や気象について英語で学ぶ ●世界最大の恐竜化石コレクションを誇るロッキー山脈博物館で生態学に触れ、ネイティブアメリカンの歴史と文化を学ぶ ●現地学生とアウトドアライフに親しみ、アメリカ特有の文化活動を理解し交流を深めると同時にコミュニケーション力の向上を図る |
| スペイン語とスペイン文化理解・体験「Interacción」 | 【スペイン】マドリッド・コンプルテンセ大学 | 春 【2週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●スペイン語とスペイン文化について学ぶとともに、関心に沿った課題を設定し、フィールドワークを行う ●学生が自身の学びや現地研修に積極的に向き合い「自分の留学をデザイン」できるプログラム ●現地学生・留学生との交流による相互理解と異文化理解を実践的に深める |
| 課題解決型のフィールドワークを通して「ドイツ」に学ぶ | 【ドイツ】パダボーン大学 他 | 春 【2週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●「ドイツと移民」をテーマに、それぞれの関心に沿った課題を設定し、セミナー、現地学生との協働プロジェクト、フィールドワークを通じた学習を行う ●パダボーンを中心に、ドイツ国内の複数の大学や都市を訪問し、言語・文化交流を通じてドイツに対する理解を深める ●現地の学生と協力して「Culture Night」を企画し、大学関係者や地域の人々に対して日本を紹介する |
| メルボルンで学ぶ多様性と多文化社会 | 【オーストラリア】メルボルン大学 | 春 【2週間】 | <ul style="list-style-type: none"> ●オーストラリアの多文化主義政策が社会に与えてきた影響を体験を通して学ぶ ●メルボルンの日本企業、日本人経営者、多文化社会の理解のために活躍する日本人との対話を通してグローバル社会への考察を深める ●現地学生や教職員との交流を通じて、異文化理解を深める |

※上記は平成31年2月現在の情報であり、変更の可能性があります。詳細は、5月(夏プログラム)と10月(春プログラム)にグローバルラーニングセンターHPに掲載予定です。
※学生1人当たりの自己負担金額(授業料の一部、渡航費、滞在費、海外旅行保険、ビザ取得料等)は、20万円から40万円程度で、プログラムにより異なります。

ベトナムで学ぶ文化と国際ビジネス



派遣国 ベトナム
派遣大学 貿易大学
参加時期 2018年 8月～9月

ベトナムの混沌に触れ、
気づき、学び、出会い、
世界中がキャンパスです。

SAP参加のきっかけ

英語力の向上を目指すことができるということ、また、かねてから関心のあった東南アジアの文化と自分の専攻に近いビジネスを学ぶことができるベトナムのプログラムは、私にとって非常に理想的なものでした。現地研修のみならず事前研修、事後研修等を通じ、語学力向上、異文化理解を深めることができる自己研鑽の機会として応募しました。

ベトナム人学生からの刺激

今回のプログラムの最終目標は、「ベトナムで起業する」をテーマとして実際の起業に関するアイデアをグループでまとめ、最終日にプレゼンテーションを行うというものでした。プレゼンテーションに至るまでに、ベトナムの文化、経済等を講義形式で学び、また、実際にフィールドワークとして主にハノイ、ホーチミンの2都市を巡る等し、これらをもとにベトナムに対する理解を深め、それぞれのグループで起業案をまとめていきました。

グループワークはベトナム人学生も共に行いましたが、将来的に起業を志す学生が多いこともあり、彼らからのアイデアはとても建設的で、起業に対する知見を深めることができました。同時に、起業など私自身の専攻分野でのディスカッションの場面で語学力が足りないために、うまく伝えることができないというもどかしい経験から、もっと英語を学びたい、学ばなければならないと感じさせられました。

SAPのすすめ

今回のプログラム参加が、私にとっては初めての海外渡航だったこともあり、不安もありました。しかし、現地出会ったベトナム人の友人、プログラムに参加した東北大学生と他大学の学生と協力することで無事プログラムを成功させることができました。

語学力向上、異文化理解はもちろんのこと、今回のSAPで知り合った東北大学生、他大学の学生、そしてベトナム人学生の友人との協働した時間は非常に素晴らしいものでした。

長期留学への準備としてだけでなく、ベトナムで得たものは今後の学生生活、進路について考えるうえで非常に貴重な経験になったと思います。

世界中がキャンパスです。SAP参加が新たな世界を切り開いてくれることと思います。皆さんも是非SAPに参加してみてくださいはいかがでしょうか。

経済学部
学部2年(SAP参加時)
白土 憲治さん



Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----------|---|----|----|---------------|----|----|----|-------------|----|---------------------|----|----|----|----|----|---|----|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 |
| 睡眠 | 起床 | 朝食 登校 | | 授業 | | 昼食 グループワーク | | 授業 | | バスで ホテルへ | | 自由時間(夕食・観光)orプレゼン準備 | | | | | | | 就寝 |

イギリスで学ぶ実践英語



派遣国 イギリス
派遣大学 シェフィールド大学
参加時期 2018年 2月～3月

かけがえのない
友達との出会い、そして
新しい自分との出会い。

応募のきっかけ

高校2年生のときに東北大学のオープンキャンパスでTGLプログラムについて説明を受けました。そこでグローバルリーダーに認定された方と話をすることがあり、海外研修に興味を持ち始めました。

本プログラムの特徴

本プログラムでは世界中から集まった英語学習者と共に語学学校で学びます。そのため普通の大学生活では関わることの少ない国の人とも交流を図ることができます。加えて、これまでアメリカ英語を学んできた人にとってイギリス英語は新鮮で、英語について新たな発見を得られるのではないのでしょうか。

語学学校での授業と交流

英語の授業はディスカッションの比重が大きく、自分の意見を求められる場面が多々ありました。初めのうちは、自分から発言しないことがいつの間にか恒常化していたことや英語力に自信がないといった理由から発言することに抵抗感がありました。しかし周りの留学生は積極的に挙手して発言していました。その姿に背中を押され、徐々に自分から発言できるようになりました。日本では、たとえ意見があっても自分から挙手して発言する人は少ないように感じます。日本以外の国の人々に囲まれて学ぶことで、英語力だけでなく発言力も身につきました。

校外では同じ語学学校のサウジアラビア人や韓国人と親しくなって一緒に出掛けたり、それぞれの言語や文化について教え合ったりしました。そのためイギリス文化以外についても学ぶことができ、多角的な視点を獲得することができました。さらにSAPの期間中に誕生日を迎え、ホストファミリーや現地で親しかった留学生にお祝いしてもらい、今までで一番思い出深い誕生日になりました。

研修を終えて

4週間という長期間、海外に滞在するのは初めてだったので不安も大きかったのですが、SAPは渡航前からサポートが充実していて、そうした不安を解消することができました。また期待以上に有意義な時間を過ごすことができ、自分のキャリアについて視野が広がりました。少しでも留学に興味がある方には是非この貴重な機会を活かして頂きたいと思います。

教育学部
学部1年(SAP参加時)
田村 奏恵さん



Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|------|----|---|----|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 |
| 睡眠 | 起床 | 登校 | | 授業 | | | | 昼食 | | 授業 | | 自由時間 | | 夕食 | | 自由時間 | | | 就寝 |

マドリッドで学ぶスペイン語とスペイン文化



派遣国 スペイン
派遣大学 マドリッド・コンプルテンセ大学
参加時期 2018年2月

海外に滞在する自信がつきます。

FLスペインに応募した理由

第二外国語として学習していたスペイン語をより深く学ぶために参加しました。また高校生の頃からの夢であるゲルニカを見ることを叶えられるのも理由の一つです。さらに約2週間滞在するのに対してかかる費用が安く済むことも魅力的でした。

プログラムを通して学んだこと

派遣される大学では平日は毎日スペイン語の授業が行われます。ですから、スペイン語の能力がこのプログラムを通して大きく成長しました。またフィールドトリップを沢山行うので、スペインにある世界遺産を訪れ、スペインの歴史を肌で感じることができました。スペインは言うまでもなく芸術の国です。世界的に有名な美術館が多くあります。プログラムを通して沢山の有名な作品を実際に見ることができました。レイナ・ソフィア美術館で見た、ピカソのゲルニカの迫力は今でも鮮明に覚えています。このように、プログラムではスペイン語のみならず、世界遺産や芸術からスペインの歴史も学びました。フィールドワークが豊富にあり、五感を使って学ぶことができるのはとても刺激的で、充実した毎日を送ることができました。

こんな人におすすめ

海外に行ったことがないけど行ってみたいと思っている人、スペイン語をより深く学びたいと思っている人、ピカソやダリ等著名な画家の作品を自分の目で見たい人、スペインの文化に興味があるすべての人にオススメです。

最後に

マドリッド・コンプルテンセ大学には日本語を学ぶ学生がいます。プログラムの中で彼らとは2回交流をしました。しかしそれだけではなく、自由時間のある日は、日本人、スペイン人のみんなで夕食を食べたりしました。多くの人が今でも彼らと交流を続けています。現地学生と友達になれることも、このプログラムの良い点であると言えます。

私はこのプログラムに参加するまでは海外を訪れたことがありませんでした。そのため、海外に滞在することに対する漠然とした不安がありました。しかしこのプログラムを通して、自信がつき、夏休みには一人でスペインとイタリアを旅行しました。これからも世界中を見て回りたくと思っています。皆さんも海外への一歩を踏み出してみませんか？

Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----------|----|----------|----|----|----|----|----|----------|------|----|----------|-----------|----|----|----|----|---|---|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 |
| 睡眠 | 朝食 身支度 | 登校 | スペイン語の授業 | | | | | 昼食 | フィールドワーク | 自由時間 | 夕食 | 自由 時間 | 授業の 復習 | 就寝 | | | | | |

文学部
学部1年 (FL参加時)
高橋 勇太さん



ノースカロライナで学ぶアメリカ南部の歴史とサブカルチャー



派遣国 アメリカ
派遣大学 ノースカロライナ大学シャーロット校
参加時期 2017年 9月

他者への理解の大切さと、自分のアイデンティティを学ぶことができた2週間でした。

参加動機

1年生の後期と2年生の前期に履修した英語の先生がSpring Ryan先生でした。先生の授業はとても面白く、積極的に授業へ参加していたところ、先生が引率するノースカロライナ大学シャーロット校(UNCC)で開催されるファカルティレッドプログラムを紹介されました。先生の故郷はどんなところだろうかという興味と、アメリカの異文化理解の寛容さを生み出す背景は何か関心があったためプログラムに応募しました。

私が学んだこと

UNCCでの授業や、インディアンやアフリカン・アメリカンに関する施設でのフィールドワーク、UNCCへ通う学生との交流を通して、アメリカ人の異文化理解とサブカルチャーは、約200年間に異民族同士の接触と融合が何度も行われ、更にそれらが新しい文化を生み出していったことによって培われてきたものということを知りました。これらは、歴史・現在の生活・多文化交流の様子を実際に見て感じたことや一緒に参加したメンバー同士で意見を交換したことでより具体的に理解することができたと思います。

今回のプログラムでは、最終報告会に向けて英語でのプレゼンテーションについても学びました。自分たちが学んだことを、他者にいかにわかりやすく、ユーモアを交えて伝えられるか試行錯誤する毎日でした。

オススメする人

アメリカの歴史や多文化交流に興味がある人にピッタリなプログラムだと思います。また、このプログラムでは、日本では経験できないことを体験できる機会がたくさんあるので、新しいことにチャレンジしてみたいと思う人には向いていると思います。

最後に

今回のプログラムを通してアメリカの異文化理解やサブカルチャーについて学びましたが、私は2週間の中で自分らしさを再発見することができました。アメリカでの生活や、日本人とアメリカ人の考え方の比較等をもとに、「多様性って面白い」、「自分のこって意外といいところ!」と気づくことができました。また、Swing Danceや自分のカメラを使って写真撮影、マラソンへの参加等の体験から、自分の世界観が広がり、新たな趣味を発見することにもつながりました。知識だけでなく、自分自身が成長し、視野が広がるプログラムだと思います。

Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|-------|----|----|----|----|----|--------------|-----------------------------|----|----|----|------------|----|----|----|----|---|---|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 |
| 睡眠 | 起床 | 朝食・準備 | 移動 | 授業 | | | 昼食 | フィールドトリップや授業 | Swing Danceやアメフト試合の観戦等異文化体験 | | | 夕食 | 翌日の準備・自由時間 | | 就寝 | | | | |

医学部
学部2年 (FL参加時)
三上 菜々子さん



海外体験プログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや大学間学術協定校等が、夏や春の長期休暇期間中に実施する2週間程度以上の短期プログラムに、東北大学での事前・事後研修を組み合わせました。積極的にこの機会を利用して、海外の学生とのネットワークを広げてください。

| | |
|---------|--|
| 奨学金情報 | 成績優秀者に月額6~10万円の奨学金を支給予定(▶P37 JASSO奨学金) |
| 派遣地域・大学 | 大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学 |
| 募集プログラム | 所属の教務係、又はグローバルラーニングセンターHPで各自確認してください □www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/studyabroad/exploring/program/ |
| 参加対象 | プログラムにより異なります |
| 単位 | 全学教育科目「海外研修(展開1)」1単位、「海外研修(展開2)」又は「海外研修(展開)」2単位 ※本学で実施する事前・事後研修への参加必須 |

2018年度募集海外体験プログラム例

| プログラム名 | 国名 | 大学・実施機関名 | 開催期間 | 派遣時期 | プログラム概要 |
|--|-----------------------|----------------|------|------|---|
| [APRU] Undergraduate Leaders' Program 2018 | オーストラリア | シドニー大学 | 2週間 | 7月 | 学部生対象。現存するグローバルな問題についての解決策を、英語で議論 |
| European Summer School | フランス、スペイン、ハンガリー、スリランカ | T.I.M.E. | 2週間 | 7月 | 世界中から集まった学生と共に「持続可能な社会」のためのアイデア検討・議論・プレゼンテーション・レポート作成 |
| Tampere Summer School | フィンランド | タンペレ大学 | 2週間 | 8月 | さまざまな国の学生と共に出発前に選択したコースを英語で受講。文化体験も |
| 2018 Chinese Learning Program in Summer | 台湾 | 国立中央大学 | 2週間 | 8月 | 現地学生と共に、中国語・台湾文化の授業、フィールドトリップに参加 |
| スカンジナビア研修2018 | フィンランド | オウル大学 | 2週間 | 9月 | スカンジナビアに関する歴史・文化・言語を学ぶ授業、フィールドトリップ、文化体験 |
| カリフォルニア・イノベーション研修 | アメリカ | US-JAPAN FORUM | 2週間 | 9月 | 米国シリコンバレーの大学・企業等で文化・専門知識を学ぶ |
| Spring+ Chinese Language & Culture Program | 台湾 | 国立台湾大学 | 3週間 | 3月 | 中国語と台湾文化のプログラム |

※[APRU]のプログラムは、東北大学から渡航費の一部補助があります。
※2019年度募集のプログラムは、上記記載のものから変更の可能性があります。プログラムにより募集時期が異なりますので注意してください。

ショートプログラム

東北大学が加盟するコンソーシアムや、大学間学術交流協定校等が実施する1~8週間程度の短期プログラムのうち、「海外体験プログラム」に含まれないものです。

| | |
|---------|--|
| 派遣地域・大学 | 大学間学術交流協定校を中心とした、世界各国の大学 |
| 募集プログラム | 所属の教務係、又はグローバルラーニングセンターHPで各自確認してください □www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/studyabroad/short/program/ |
| 参加対象 | プログラムにより異なります |

2018年度募集ショートプログラム例

| プログラム名 | 国名 | 大学・実施機関名 | 開催期間 | 派遣時期 | プログラム概要 |
|--|----|----------|------|------|---|
| [AEARU] 2018 Student Summer Camp (General) | 中国 | 中国科学技術大学 | 2週間 | 8月 | 学部生対象。最先端科学技術の紹介、キャンパスツアー、研究室・企業訪問、フィールドトリップ、文化体験、社会交流等 |
| TNI Summer Program 2018 | タイ | 泰日工業大学 | 2週間 | 8・9月 | 英語・日本語で行われる授業、ホームステイ、フィールドトリップ、文化体験 |

※[AEARU]のプログラムは、東北大学から渡航費の一部補助があります。
※2019年度募集のプログラムは、上記記載のものから変更の可能性があります。プログラムにより募集時期が異なりますので注意してください。

海外体験プログラム参加レポート

Tampere Summer School



工学部
学部2年(留学開始時)
大友 沙紀さん
派遣国 フィンランド
派遣大学 タンペレ大学
参加時期 2018年8月

多様な価値観を持つさまざまな国籍の学生と過ごす2週間はとても貴重な体験になりました。

8月初旬の2週間、フィンランドのタンペレ大学で行われたサマースクールに参加しました。長期留学を考える上で、一人で海外に行って日本人の少ない環境で学ぶという体験を一度してみたいという思いと、大学からの金銭的サポートが充実しているという点で本プログラムに申し込みました。ヨーロッパを中心に世界中から400人以上の学生が集まり、30以上のコースからそれぞれが好きなものを選んで学びます。私は自分の専門分野に近いコンピュータサイエンスの授業と、社会福祉制度に関する2つの授業を履修しました。最初は専門用語を英語で聞き取ることが難しく、とても苦戦しましたが、寮の共用スペースでみんなと教え合い、協力することで乗り切ることができました。

放課後はフィンランド式サウナ体験や、カヌー、BBQ、ミュージアム訪問等の文化体験イベントが毎日開かれました。多様な価値観を持つさまざまな国籍の学生と友達になることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。アジア人がごく少数という環境で過ごした2週間はとても貴重なものであり、他の海外プログラムとはまた違う学びが多くあると思います。大学2年生の夏、素晴らしい経験になりました。



Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----------------|----|----|----------|----|----|----|----|----|---|---|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 |
| 睡眠 | 起床 | 準備 | 授業 | | | 昼食 | 授業 | 自由時間 | Social Program | | | 自由時間・予習等 | 就寝 | | | | | | |

T.I.M.E. European Summer School



工学研究科
博士課程前期1年(留学開始時)
齋藤 聖史さん
派遣国 フランス
派遣大学 セントラルスピレック
参加時期 2018年7月

ヨーロッパの学生のレベルの高さを実感しました。

私は学部時代、留学に興味はありませんでした。海外体験をしたいのなら、旅行をすれば十分だと考えており、長期休暇の度にバックパッカーとして数週間旅行をして満足していたからです。しかし、博士課程前期1年となり就職を考える段階にきて、社会人になってからも海外旅行をしたい、そのためには長期休暇と高い労働生産性を両立する欧州で働きたいと考えるようになりました。そのため、欧州の学生、研究者のレベルや労働に対する意識を学ぶために、世界中から学生が欧州に集まり、2週間グループワークをするというT.I.M.E. Summer Schoolに参加することにしました。

プログラムの内容は、指定されたある環境問題について、2週間の期間で学生達が解決策を考え、それをプレゼンし、レポートにまとめるというものでした。そこで驚いたのは欧州の学生のレベルの高さです。彼らの仕事のスピード、積極性は凄まじく、同じ時間で私の2倍以上の仕事をしており、高い労働生産性はこういったところから来ているのではないかと感じました。私はというと、最初のディスカッションでは聞き取り、内容を理解するのに精一杯で発言をする余裕はほとんどないという状況でした。しかしそういった環境で必死にプログラムに取り組む中で、仕事、ディスカッションにも慣れ、後半は積極的に行動、発言できるようになっていました。海外の学生からの刺激を受け、英語での情報収集、ディスカッション、プレゼン等のスキルアップができた最高に濃密な2週間になったと思います。



Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|---------|---------|----|---------|------|------|----|------|----|----|----|----|----|----|----|---|---|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 |
| 睡眠 | 起床 | 通学 | Skype講義 | グループワーク | 昼食 | グループワーク | プレゼン | 自由時間 | 夕食 | 自由時間 | 就寝 | | | | | | | | |

※ 大学間学術交流協定に基づく交換留学プログラム

東北大学と大学間学術交流協定を結ぶ海外の大学へ、1学期又は1年間留学するプログラムです。本学の学部学生及び大学院生を対象としています。東北大生としての学生生活の一部を、海外の大学で過ごし、現地の学生と共に専門教育を学びます。それだけでなく、課外活動等を通じて日本にいないだけでは得られないさまざまな経験を積むことができるプログラムです。

Merit 01 単位互換の可能性

留学期間も休学する必要はなく、東北大学の在籍期間としてみなされます。また、留学先の大学で取得した単位を東北大学の単位として認定することも可能^{※1}です。そのため、1学期又は1年間にわたって留学した場合でも、留年せずに卒業できる可能性^{※2}があります。

Merit 02 授業料免除

多くの大学との協定において、留学先の大学は交換留学生から授業料を徴収しないことを定めています。ただし、留学期間中も東北大学に授業料を納める必要があります。また、一部の大学では授業料を徴収されます。

※1 履修予定の授業の単位互換認定については、必ず所属する学部・研究科に確認してください。

※2 標準修業年限内での卒業を目指す場合の留意事項については、必ず所属する学部・研究科に確認してください。

学内の募集時期と応募条件(予定)

募集時期 5月と10月 ※ただし、協定校への申請締切は異なります。

語学要件 応募に当たり、各協定校に語学要件の定めがある場合は学内応募の時点でその基準を満たす必要があります。定めがない場合、英語で授業を受ける予定の学生は、応募時点でTOEFL ITP500相当以上あることを条件とします。英語以外の言語で授業を受ける場合は、語学検定試験等により、「ヨーロッパ言語共通参照枠(CEFR)」に照らし、A2相当を取得していることを条件とします。

派遣地域・大学・機関 35の国と地域、229大学・機関 ※学生交流協定締結機関のみ(▶P03-04)

期間 1学期～1年間 **参加対象** 全学部・研究科の学生

奨学金情報 | 各種奨学金の応募が可能(▶P37)

【申請から渡航までの流れ】 ※時期は P07-08 参照

学内応募

1次募集:10月上旬～11月上旬
2次募集:5月上旬～6月下旬

学内選考

1次:書類選考
2次:面接選考

留学内定

オリエンテーション

参加必須

留学先への申請

受入許可を取得

渡航準備

査証取得、海外旅行保険加入、所属部局での手続き(学籍異動等)等















留学開始(渡航)



※ISTUで「大学間交流協定に基づく派遣支援留学者の帰国者アンケート科目」を受講申請すると、過去に交換留学を経験した本学学生の帰国後アンケートが閲覧できます。

※ 主な派遣先大学&派遣条件等詳細一覧

<北米>

| | | |
|---|--|--|
|  カナダ オタワ大学 University of Ottawa | 指導言語 英語・フランス語 語学条件 英語:TOEFL iBT86(Writing 22以上), IELTS6.5(Writing 6.5以上) ※Faculty of Law, Common Lawは要確認 フランス語:DALF C1又はC2, DELF&TEF&TCFはB2 | 学年暦 ①9月～12月 ②1月～4月 |
|  カナダ クイーンズ大学 Queen's University | 指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT88(Listening20, Writing24, Speaking22, Reading22), IELTS6.5(全6.0以上) | 学年暦 ①9月～12月 ②1月～4月 ③5月～8月 |
|  カナダ ブリティッシュ・コロンビア大学 The University of British Columbia | 指導言語 英語 語学条件 学部:TOEFL iBT 90 (Listening22, Writing21, Speaking21, Reading22以上), IELTS 6.5(全6.0以上), TOEFL ITP不可 大学院:要確認 | 学年暦 ①9月～12月 ②1月～4月 |
|  アメリカ カリフォルニア大学 University of California | 指導言語 英語 学年暦 パークレー校、マーセド校:①8月～12月 ②1月～5月 その他:①9月～12月 ②1月～3月 ③4月～6月 語学条件 デビス校:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 80, IELTS 7.0以上 ロサンゼルス校、サンディエゴ校:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 83, IELTS 7.0以上 その他:TOEFL ITP 550, TOEFL iBT 80, IELTS 6.5以上 | |
|  アメリカ ニューヨーク州立大学オールバニー校 University at Albany, State University of New York | 指導言語 英語 語学条件 TOEFL ITP550, TOEFL iBT70(大学院:79), IELTS6.0 | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 成績条件 GPA2.5以上 |
|  アメリカ パデュー大学 Purdue University | 指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT80(各20以上), IELTS6.5(全6.0以上) | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 成績条件 GPA3.0以上 |
|  アメリカ ベイラー大学 Baylor University | 指導言語 英語 語学条件 TOEFL ITP 540, TOEFL iBT 76, IELTS6.0 | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 成績条件 GPA3.0以上 |
|  アメリカ ハワイ大学マノア校 University of Hawaii at Manoa | 指導言語 英語 語学条件 学部:TOEFL ITP520, TOEFL iBT68, IELTS6.0 大学院:要確認 | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 成績条件 GPA2.5以上(院:3.0以上) |
|  アメリカ ワシントン大学 The University of Washington | 指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT83(大学院:92), IELTS7.0 | 学年暦 ①9月～12月 ②1月～3月 ③3月～6月 成績条件 GPA3.0以上 |
|  アメリカ ノースカロライナ大学シャーロット校 University of North Carolina at Charlotte | 指導言語 英語 語学条件 TOEFL ITP523, TOEFL iBT70, IELTS6.0 | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 |
|  アメリカ メリーランド大学カレッジパーク校 University of Maryland, College Park | 指導言語 英語 語学条件 TOEFL iBT90(各22以上), IELTS6.5(各6.5以上) | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 成績条件 GPA3.0以上 |
|  アメリカ モンタナ大学 University of Montana | 指導言語 英語 語学条件 学部:TOEFL iBT70, IELTS6.0 大学院:TOEFL iBT92, IELTS7.0 | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 |
|  アメリカ デンバー大学 University of Denver | 指導言語 英語 語学条件 学部:TOEFL iBT80(各20以上), IELTS6.5(各6.0以上) 大学院:要確認 | 学年暦 ①9月～11月 ②1月～3月 ③3月～6月 |
|  アメリカ他 GE3 Global Engineering Education Exchange | アメリカを中心としたGE3加盟校71校から派遣先を自身で選択。 詳細は要確認。 | |

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数等については、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部/大学院ごとに交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のホームページ等で確認してください。
※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。学内条件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。
※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内応募は5月頃に行う予定です。
※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はホームページ等で確認してください。

※主な派遣先大学 & 派遣条件等詳細一覧

〈北 欧〉

| | |
|--|--|
|  フィンランド アアルト大学 Aalto University | 指導言語 英語・(フィンランド語) 学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)ただし、CEFRB2相当以上推奨 |
|  フィンランド オウル大学 University of Oulu | 指導言語 英語・(フィンランド語) 学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)ただし、CEFR B2相当以上推奨 |
|  フィンランド タンペレ大学 Tampere University | 指導言語 英語・(フィンランド語) 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)ただし、CEFR B2相当以上推奨 |
|  フィンランド トゥルク大学 University of Turku | 指導言語 英語・(フィンランド語) 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)ただし、CEFR B2相当以上推奨 |
|  スウェーデン ウーメオ大学 Umeå University | 指導言語 英語・(スウェーデン語) 学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件) |
|  スウェーデン スウェーデン王立工科大学 KTH Royal Institute of Technology | 指導言語 英語・(スウェーデン語) 学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件) |
|  スウェーデン ウプサラ大学 Uppsala University | 指導言語 英語・(スウェーデン語) 学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件)ただし、CEFR B2相当以上推奨 |
|  スウェーデン ストックホルム大学 Stockholm University | 指導言語 英語・(スウェーデン語) 学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月 語学条件 TOEFL iBT79, IELTS6.0(各5.5)以上 |
|  スウェーデン チャルマース工科大学 Chalmers University of Technology | 指導言語 英語 学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件) |

〈欧 州〉

| | |
|---|---|
|  イギリス ヨーク大学 The University of York | 指導言語 英語 学年暦 ①9月～11月 ②1月～3月 ③4月～6月 語学条件 学部ごとに異なるため要確認 成績条件 GPA3.0以上 |
|  イギリス シェフィールド大学 The University of Sheffield | 指導言語 英語 学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月 語学条件 学部ごとに異なるため要確認 成績条件 GPA3.0以上 |
|  オランダ グローニンゲン大学 University of Groningen | 指導言語 英語・(オランダ語) 学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月 語学条件 TOEFL iBT92 (各21以上), IELTS7.0 (各6.0以上) |
|  ドイツ アーヘン工科大学 University of Technology Aachen | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月 語学条件 ドイツ語: CEFR B1相当以上 英語: TOEFL iBT60, IELTS5.0, CEFR B1相当以上 |
|  ドイツ ドルトムント工科大学 TU Dortmund University | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月 語学条件 要確認 |
|  ドイツ ゲッティンゲン大学 University of Göttingen | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～2月 ②4月～9月 語学条件 ドイツ語・英語: CEFR B2相当以上 |

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数等については、年度ごとに更新される可能性があります。また、学部/大学院ごとに交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のホームページ等で確認してください。
※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。学内条件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。
※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内募集は5月頃に行う予定です。
※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はホームページ等で確認してください。

| | |
|---|--|
|  ドイツ ドレスデン工科大学 Dresden University of Technology | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月 語学条件 ドイツ語・英語: CEFR B1相当以上 |
|  ドイツ ベルリン工科大学 Berlin University of Technology | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月 語学条件 ドイツ語: CEFR B2相当以上 英語: CEFR B2相当以上 (TOEFL iBT87, IELTS5.0, TOEIC605) |
|  ドイツ ミュンヘン工科大学 Technical University of Munich | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～3月 ②4月～9月 語学条件 ドイツ語・英語: CEFR B1相当以上 |
|  ドイツ ハイデルベルク大学 University of Heidelberg | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のドイツ語能力(学内条件) |
|  ドイツ パダボーン大学 University of Paderborn | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のドイツ語能力(学内条件) |
|  ドイツ ケムニッツ工科大学 Chemnitz University of Technology | 指導言語 ドイツ語・英語 学年暦 ①10月～2月 ②4月～7月 語学条件 ドイツ語: CEFR B1相当以上 英語: TOEFL ITP500(学内条件) |
|  フランス パリ第7大学 Université Paris Diderot | 指導言語 フランス語・英語 学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月 語学条件 フランス語: DELF B2, DALF C1, TCF B2, TEF Level4 英語: TOEFL ITP527, TOEFL iBT71, IELTS5.5 |
|  フランス レンヌ第1大学 Université Rennes 1 | 指導言語 フランス語 学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月 語学条件 CEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) 成績条件 学部により異なる |
|  フランス レンヌ第2大学 Université Rennes 2 | 指導言語 フランス語 学年暦 ①9月～12月 ②1月～6月 語学条件 CEFR B2相当以上のフランス語能力 ※ただし、到着後フランス語講座に出席することを条件にB1相当も認める |
|  フランス グルノーブル・アルプ大学連合 Communauté Université Grenoble Alpes | 指導言語 フランス語・英語 学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ※ただし、指導言語に応じてCEFR B2相当以上が強く推奨される |
|  フランス ストラスブール大学 Université de Strasbourg | 指導言語 フランス語・(英語) 学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月 語学条件 フランス語: CEFR B1相当以上 (DELF-DALF, TCF, TEF degree) ※ただし、B2相当以上を強く推奨 英語: TOEFL ITP500(学内条件) |
|  フランス 国立応用科学院リヨン校 Institut National des Sciences Appliquées de Lyon | 指導言語 フランス語・英語 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ※ただし、フランス語で学ぶ場合CEFR B1相当以上を強く推奨 |
|  フランス 国立中央理工科学校リヨン校 Ecole Centrale de Lyon | 指導言語 フランス語・英語 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 語学条件 要確認 |
|  フランス リヨン高等師範学校 Ecole Normale Supérieure | 指導言語 フランス語・英語 学年暦 ①9月～1月 ②1月～5月 語学条件 文系: CEFR C1相当以上のフランス語能力(仏検1級程度) 理系: CEFR B2相当以上のフランス語能力(仏検準1級程度)及び十分な英語能力 |
|  フランス リヨン第2大学 Université Lumière Lyon 2 | 指導言語 フランス語 学年暦 ①9月～1月 ②1月～6月 語学条件 CEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ※ただし、CEFR B1相当以上を強く推奨 |
|  フランス サンティエヌ国立高等鉱山大学 Ecole National Supérieure des Mines de Saint-Etienne | 指導言語 フランス語・英語 学年暦 ①9月～2月 ③3月～9月 語学条件 要確認 |
|  スペイン グラナダ大学 Universidad de Granada | 指導言語 スペイン語・(英語) 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 語学条件 CEFR A2相当以上のスペイン語能力(学内条件) |

東北大学からの留学
短期海外研修SAPFL
海外体験プログラム
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部研究科主催のプログラム
留学のための各種サポート
学内で国際交流
国際交流・留学サポート

※主な派遣先大学 & 派遣条件等詳細一覧

| | | | |
|--|-------------------|-----------------------|--|
|  ポルトガル リスボン新大学 Universidade NOVA de Lisboa | 指導言語 ポルトガル語・英語 | 学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月 | 語学条件 要確認 |
|  イタリア フィレンツェ大学 Università degli Studi di Firenze | 指導言語 イタリア語・英語 | 学年暦 ①9月～2月 ③3月～7月 | 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のイタリア語能力(学内条件) |
|  イタリア ミラノ工科大学 Politecnico de Milano | 指導言語 イタリア語・英語 | 学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月 | 語学条件 要確認 |
|  オーストリア ウィーン大学 University of Vienna | 指導言語 ドイツ語・英語 | 学年暦 ①10月～1月 ③3月～6月 | 語学条件 ドイツ語:要確認 英語:TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0 |
|  スイス スイス連邦工科大学 ローザンヌ校 École Polytechnique Fédérale de Lausanne | 指導言語 フランス語・英語 | 学年暦 ①9月～12月 ②2月～6月 | 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上のフランス語能力(学内条件) ※ただし、指導言語に応じて英語・フランス語CEFR B2相当以上を強く推奨 |
|  スイス ジュネーブ大学 Université de Genève | 指導言語 フランス語・英語 | 学年暦 ①9月～2月 ②2月～6月 | 語学条件 フランス語・英語:CEFR B2相当以上 |
|  チェコ チェコ工科大学プラハ校 Czech Technical University in Prague | 指導言語 英語 | 学年暦 ①10月～2月 ②2月～6月 | 語学条件 CEFR B2相当以上の英語能力 |
|  ロシア ノボシビルスク国立大学 Novosibirsk State University | 指導言語 ロシア語・英語 | 学年暦 ①10月～1月 ②2月～6月 | 語学条件 要確認 |

〈アジア・オセアニア〉

| | | | |
|---|----------------------|-----------------------|---|
|  タイ アジア工科大学院 Asian Institute of Technology | 指導言語 英語・(タイ語) | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 | 語学条件 要確認 |
|  タイ チュラロンコン大学 Chulalongkorn University | 指導言語 英語・(タイ語) | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 | 語学条件 TOEFL ITP550, TOEFL iBT79, IELTS6.0 成績条件 GPA2.75以上 (マスター:3.0以上) |
|  タイ タマサート大学 Thammasat University | 指導言語 英語・(タイ語) | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 | 語学条件 要確認 成績条件 学部・プログラムにより異なる |
|  シンガポール シンガポール国立大学 National University of Singapore | 指導言語 英語・(中国語) | 学年暦 ①8月～12月 ②1月～5月 | 語学条件 TOEFL ITP500以上(学内条件) ※ただし、Faculty of LawのみTOEFL ITP600, TOEFL iBT100, IELTS6.5 |
|  インドネシア インドネシア大学 University of Indonesia | 指導言語 英語・(インドネシア語) | 学年暦 ①8月～12月 ②2月～6月 | 語学条件 TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0 成績条件 GPA3.0以上 |
|  インドネシア ガジャマダ大学 Gadjah Mada University | 指導言語 英語・(インドネシア語) | 学年暦 ①8月～1月 ②2月～7月 | 語学条件 TOEFL ITP500以上(ただし550以上を推奨), IELTS 5.5 成績条件 GPA3.0以上 |
|  インドネシア ボゴール農科大学 Bogor Agricultural University | 指導言語 英語・(インドネシア語) | 学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月 | 語学条件 要確認 (留学後インドネシア語のコースの履修が必要) |

※各大学の指導言語、学年暦、語学条件、成績条件、申請締切、派遣可能人数等については、年度ごとに変更される可能性があります。また、学部/大学院ごとに交換留学の可否や、指導言語、語学条件等が異なる大学もありますので、必ず各大学のホームページ等で確認してください。
 ※東北大学では、語学条件を定めていない協定校についても、一定以上の語学能力を持つ学生を派遣するため学内条件を定めています。学内条件は変更される可能性がありますので、必ず募集要項等で確認してください。
 ※「学年暦」の①からの留学開始を対象とする学内募集は10月頃、②、③からの留学開始を対象とする学内募集は5月頃に行う予定です。
 ※ここに掲載されていない大学であっても、大学間学術交流協定校であれば交換留学の応募が可能です。条件等はホームページ等で確認してください。

| | | | |
|---|----------------------|-----------------------------|--|
|  インドネシア ブラウィジャヤ大学 Brawijaya University | 指導言語 英語・(インドネシア語) | 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 | 語学条件 TOEFL ITP500, IELTS5.5 |
|  マレーシア マラヤ大学 University of Malaya | 指導言語 英語・(マレーシア語) | 学年暦 ①9月～1月 ③3月～6月 | 語学条件 英語:TOEFL ITP500(学内条件) ※ただし、Faculty of Business & Accountancyと Faculty of LawのコースのみTOEFL ITP550, IELTS6.0が必要 成績条件 GPA3.0/4.0 |
|  韓国 ソウル大校 Seoul National University | 指導言語 英語・(韓国語) | 学年暦 ①9月～12月 ③3月～6月 | 語学条件 英語:TOEFL ITP570, TOEFL iBT88, IELTS6.0以上 成績条件 GPA3.0/4.0 韓国語:KLAT Level5, TOPIC Level5以上推奨 |
|  韓国 高麗大校 Korea University | 指導言語 英語・(韓国語) | 学年暦 ①9月～12月 ③3月～6月 | 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当 成績条件 GPA2.5/4.0以上 以上の韓国語能力(学内条件) |
|  ベトナム 貿易大学 Foreign Trade University | 指導言語 英語・(ベトナム語) | 学年暦 ①8月～1月 ②1月～6月 | 語学条件 英語:TOEFL ITP500(学内条件) ※ただし、TOEFL ITP605, TOEFL iBT65, IELTS5.5以上を強く奨励 成績条件 GPA2.8/4.0 |
|  中国 清華大学 Tsinghua University | 指導言語 中国語・英語 | 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 | 語学条件 中国語:HSK旧6級、又はHSK新5級以上(各60以上) 英語:TOEFL ITP500(学内条件) |
|  中国 北京大学 Peking University | 指導言語 中国語・英語 | 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 | 語学条件 中国語:HSK新6級以上(各75以上) 英語:TOEFL ITP600, TOEFL iBT100, IELTS6.5以上 |
|  中国 復旦大学 Fudan University | 指導言語 中国語・英語 | 学年暦 ①9月～1月 ②2月～7月 | 語学条件 中国語:HSK6(スコア200以上) 英語:TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0(各6.0以上) 成績条件 GPA3.0以上 |
|  中国 上海交通大学 Shanghai Jiao Tong University | 指導言語 中国語・英語 | 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 ③6月～7月 | 語学条件 中国語:HSK5以上 成績条件 GPA3.0/4.0 英語:TOEFL iBT90, IELTS6.0 |
|  中国 香港科技大学 The Hong Kong University of Science and Technology | 指導言語 中国語・英語 | 学年暦 ①9月～12月 ②1月～5月 | 語学条件 TOEFL ITP500又はCEFR A2相当以上の中国語能力(学内条件) ※ただし、TOEFL ITP550, TOEFL iBT80, IELTS6.0以上を推奨 成績条件 GPA2.7以上 |
|  台湾 国立台湾大学 National Taiwan University | 指導言語 中国語・英語 | 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 | 語学条件 TOEFL ITP 500又はCEFR A2相当以上の中国語能力(学内条件) |
|  台湾 国立政治大学 National Chengchi University | 指導言語 中国語・英語 | 学年暦 ①9月～1月 ②2月～6月 | 語学条件 中国語:TOCFL Superior, CEFR B2, HSK4級相当を推奨 成績条件 GPA2.5以上 英語:TOEFL iBT79, IELTS 6.0 |
|  オーストラリア シドニー大学 The University of Sydney | 指導言語 英語 | 学年暦 ①8月～11月 ②2月～6月 | 語学条件 TOEFL iBT85 (Writing 19以上, Listening, Speaking, Reading 17以上), IELTS6.5 (各6.0以上) 成績条件 GPA3.0以上 |
|  オーストラリア ニューサウスウェールズ大学 The University of New South Wales | 指導言語 英語 | 学年暦 ①9月～12月 ②2月～5月 | 語学条件 TOEFL iBT90, IELTS 6.5 ※ただし、Law coursework programsはTOEFL iBT94, IELTS7.0以上 成績条件 GPA3.0以上 |
|  オーストラリア メルボルン大学 The University of Melbourne | 指導言語 英語 | 学年暦 ①7月～11月 ②2月～6月 | 語学条件 TOEFL iBT79 (Writing 21, Speaking 18, Reading & Listening 13以上), IELTS6.5 (各6.0以上) 成績条件 GPA3.0以上 |
|  オーストラリア オーストラリア国立大学 The Australian National University | 指導言語 英語 | 学年暦 ①7月～11月 ②2月～6月 | 語学条件 TOEFL iBT80 (Reading, Writing 20以上, Speaking, Listening 18以上), IELTS6.5 (各6.0以上), TOEFL ITP不可 成績条件 GPA3.0以上 |

東北大学からの留学

短期海外研修SAPFL

シオイト体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート



派遣国 シンガポール
派遣大学 シンガポール国立大学
留学時期 2017年 8月～2018年 5月

優秀でユニークな人に囲まれ 刺激を受けながら、自分を 見つめなおす貴重な機会でした。

自分の力を試すべくアジアNo.1大学へ

私の留学の目的は主に、①自分の力試しと成長のためにレベルの高い環境に身を置くこと②ビジネスの勉強③中国語の習得、の3つでした。以上を踏まえて、中国語圏であり金融・ビジネスの中心地でもあるシンガポールという国、そして世界中から優秀な学生が集まるアジアトップの総合大学、シンガポール国立大学を選びました。

留学の経験と学び

留学中は力不足を痛感する日々の連続でした。「自分の力=どれだけ価値を生み出せるか」ととらえて生活をしましたが、語学力にハンディキャップがありながら自分より優秀な人の中で価値を出すことは簡単ではありませんでした。そこで自分にとことん向き合い試行錯誤することを繰り返しました。その結果、知識や思考の面で他学生に及ばなくても、自己理解を深めるにつれ、次第に自分なりの強みや個性を生かした価値創造ができるようになりました。

また、他大学から来た日本人学生たちは、留学生活を送るうえで非常に大きな存在でした。出身も年齢も専攻も異なる学生たちと話し、さまざまな価値観やバックグラウンドに触れることは刺激的でした。彼(彼女)らは優秀で個性的な人ばかりで、仲間であると同時に、追いつき追いつけたいと思うライバルのような存在でもありました。その存在は、留学中の生活を送るうえで大きなモチベーションでした。

授業は、School of Computing 開講のビジネス関連科目でデータサイエンスを中心に受講しました。理系学部の開講ということもあり、内容は数学(統計学)やプログラミングが中心でした。当時の私にとってビジネスをデータドリブンで数学的なアプローチで考えることは新鮮で、プログラミングも文系の私にはなじみないものでしたが、実践的な授業を通じて学んだことで一層面白く感じました。留学をきっかけにこの分野に興味をもち始め、帰国後も継続して勉強しています。

留学を経ての心境の変化と進路の決定

留学は自分の将来を考える機会でもありました。留学中のさまざまな人と出会い、力不足を感じた経験から、より成長したいという気持ちと専門性をもちたいという気持ちが強くなりました。さらに、より学びたいと思う分野を見つけたこともあり、データサイエンスを専攻に大学院に進学することを決めました。

▶ 滞在先について

大学までキャンパスバスで5分の距離にある留学生向けの寮に住んでいました。部屋は個室でしたが、風呂やトイレ、キッチン、ソファがあるコモンスペースを3人のルームメイト(前・後期で5ヶ国から6名)と共有しました。共有スペースは広く、ルームメイトや友人を呼んだりして回らなりました。また、寮敷地内には学食・ジム・プール・24時間営業のコンビニ・スタバ等があり、とても快適で便利な過ごしやすかったです。

経済学部
学部3年(留学開始時)
栗原 滉平さん



Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----------|------|----|----|----|----|----|----|----|---|---|--|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 | |
| 睡眠 | 起床 | 登校 | 授業 | 昼食 | 休憩 | 授業 | 自由時間 | 夕食 | 予習等の自主学習 | 自由時間 | 就寝 | | | | | | | | | |



派遣国 スウェーデン
派遣大学 スウェーデン王立工科大学
留学時期 2017年 8月～2018年 6月

北欧の自然に囲まれながら、 「知る」ことの楽しさを 知りました。

宇宙工学分野で国際的に活躍するために

小惑星探査機はやぶさが、度重なるアクシデントを乗り越えて地球に帰還したのは、私が中学2年生の時でした。この歴史的なイベントを通してすっかり宇宙に魅了された私は、将来宇宙工学分野で国際的に活躍したいという夢を抱き続けてきました。スウェーデン王立工科大学(KTH)では元宇宙飛行士の教授が教鞭をとっており、国際宇宙ステーション滞在経験を踏まえたレクチャーを通して、宇宙開発について深く学ぶことができます。授業で幅広い専門知識を得るとともに、同じ志を持つ学生と交流することで夢の実現への第一歩を踏み出したい、との思いからKTHへの留学を決意しました。

主体性が身につく授業

KTHでの授業の大きな特徴として、プロジェクトワークが挙げられます。東北大では座学が多く、受け身な姿勢で授業に臨んでしまいましたが、KTHでは学生の主体性が強く求められます。例えば、有人宇宙開発に関する授業では、月周回軌道に建設が提案されている有人宇宙ステーションを一からデザインするというプロジェクトワークを行いました。進行等は全て学生に委ねられており、学生間で意見を出し合いながらプロジェクトを進めていきました。同じグループの友人と夜まで作業に明け暮れたり、宇宙のことや自分の将来について夢中になって語り合ったりしたことは、忘れられない思い出です。

留学を通して視野が広がり、「知る」ことの楽しさを知った

KTHが位置するスウェーデンのストックホルムは、水と自然に囲まれた美しい街です。都会でありながらも落ち着いた雰囲気、勉学に打ち込むのに最適な環境でした。授業や大学内外のイベントを通して、世界各国の学生と出会いましたが、Fika(コーヒーを片手に談笑する、スウェーデン特有の文化)をしながら自国の文化・慣習について話したり、政治や国際問題について真剣な議論を交わしたりする機会を多く得たことで、「世界には自分が知らないことが沢山ある」ということに気づきました。それと同時に、常に広い視野で物事を捉える習慣が身につく、知ること・学ぶことの楽しさを実感することができました。沢山の友人に囲まれ、日々新しい気づきを得ながら過ごした10ヶ月間の留学生活は、私の一生の宝物です。

▶ 滞在先について

私が住んでいた寮は、大学から地下鉄で40分程の場所にあり、Studioという一人暮らしのタイプのものでした。キッチンとバスルームは部屋の中にありましたが、洗濯機は共用で事前予約制でした。ルームメイトがおらず、異文化交流の機会がなかったのは残念でしたが、帰宅後も自分のペースで勉強に集中できるというメリットもありました。同じ寮に住む留学生とは頻りに夕食を共にし、楽しい時間を過ごすことができました。

工学部
学部3年(留学開始時)
和田 朱音さん



Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----|----|----|-----|----|-------|-------------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|---|--|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 | |
| 起床朝食 | 登校 | 授業 | 昼食 | 授業 | 図書館 | 下校 | 友人と夕食 | 宿題・予習復習 洗濯・お風呂 | 就寝 | | | | | | | | | | | |

Cooperative Laboratory Study Program Outbound

COLABS (自然科学系短期共同研究留学生交流プログラム)

COLABSの特徴は、派遣先大学の指導教員の指導のもと、自身のテーマに沿った研究活動を中心とした留学ができることです。海外での学術経験を積むことができるだけでなく、海外の研究者との人的ネットワークを築くチャンスとなります。COLABSプログラムによる研究成果をもとに、海外の一流の学術誌に論文を掲載された学生もいます。一方、東北大学の指導教員を交えて、自身で留学計画を策定し、留学希望大学の指導教員から受入許可を得る必要があり、強い主体性が求められます。

参加対象

- ①自然科学系研究科の大学院生
- ②自然科学系研究科に進学見込みの学部4年生
- ③6年生課程の5年生以上(ただし、特別プログラムは4年生以上)

自然科学系研究科 | 理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学系研究科、環境科学研究科、医工学研究科

奨学金情報 | 成績優秀者に月額6~10万円の奨学金を支給予定(▶P37 JASSO奨学金)

セメスター型

1学期から1年間の研究センター型留学プログラム

COLABSセメスター型には大学間、部局間協定機関に対して「交換留学生」の身分で留学する方法と、大学間、部局間協定機関、又はそれ以外の機関に「交換留学生」以外の身分で留学する方法があります。「交換留学生」の場合は学内選考を経たうえで留学先大学の定める期限までに所定の方法で申請をする必要があり、語学要件等が設定されている場合はそれを満たす必要があります。「交換留学生」として在籍することにより、長期間滞在のためのビザ取得のサポートや、授業料免除、学生寮の紹介等を受けることができます(一部例外もあり)。「交換留学生」以外の場合、留学先での在籍身分の有無や、その種類、(何らかの在籍身分が存在した場合)それを取得するための申請方法・期限等の確認及び「交換留学生」の身分であれば一定の保証がなされるビザ取得のサポートや、授業料免除、学生寮紹介の有無等についてもすべてご自身で確認のうえ、手続きを行う必要があります。

派遣地域・大学 | 大学間協定機関又は部局間協定機関、もしくは左記以外の希望する教育・研究機関

期間 | 1学期相当~1年以内

集中型・ワークショップ型

3ヶ月以内の研究センター型留学プログラム

COLABS集中型・ワークショップ型の特徴は、留学先大学での在籍身分について、自身が、派遣先大学の指導教員に確認する必要があることです。滞在期間の短さから、在籍身分を得る必要がないことも多いですが、留学先での活動形態や、各国・大学・研究室ごとにより事情は異なります。

集中型

派遣先機関の研究者の指導のもと、研究活動に従事します。

ワークショップ型

派遣先機関等で開催されるワークショップや研究会への参加だけでなく、研究活動やフィールドワーク等の調査を行うこともできます。

派遣地域・大学 | 大学間協定機関又は部局間協定機関、もしくは左記以外の希望する教育・研究機関

期間 | 【集中型】32日以上~3ヶ月以内
【ワークショップ型】10日以上~31日以内

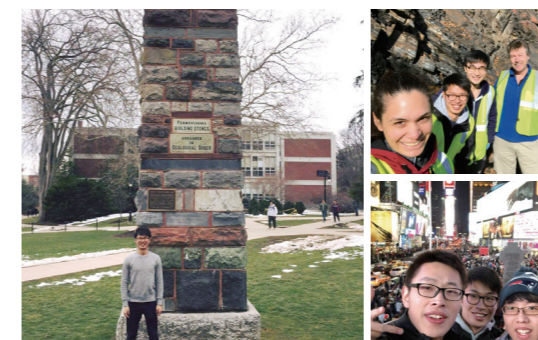
COLABS体験レポート

体験に勝るものなし。理屈でない、心に響く体験ができました。



理学研究科
博士前期課程1年(留学開始時)
篠原 敬博さん

派遣国 | アメリカ
派遣大学 | ペンシルベニア州立大学
留学時期 | 2017年8月~2018年6月



大学中心の町、「ステートカレッジ」における研究生活

私が留学したペンシルベニア州立大学は、私の専門である地球科学分野が世界的に有名で、世界各国から留学生が集まっていました。私が所属していた研究室では、研究テーマが多岐にわたり、それぞれの学生が独立して研究活動に励んでいたことが印象的です。私は留学時に研究テーマを大きく変更したため、留学当初は大変苦労しました。しかし、指導教員や研究室の同僚に積極的にコンタクトをとった結果、研究内容や実験方法等について丁寧に教えてもらうことができました。また、学生たちは自分の研究テーマだけではなくその分野の幅広い知識を有していたことが印象的でした。大学院に入学して間もない学生たちは、研究に加えて莫大な量の課題が出る授業を受ける必要があるからです。彼らの勉学に励む様子を見て大きな刺激を受けました。

私が所属していた研究室は自由な雰囲気、例えば自宅で研究をしている同僚がいる等、自分の都合に合わせて研究をする場所や時間を決めることができました。従って、私自身は1週間休みをとりアメリカ西海岸へ旅行に行く等、研究以外でもアメリカ生活を満喫することができました。その他、大学のアメリカンフットボールチームの試合観戦等を体験し、大学中の学生が一丸となり応援する姿を見て、学生の大学に対する強い愛着を感じました。

Schedule

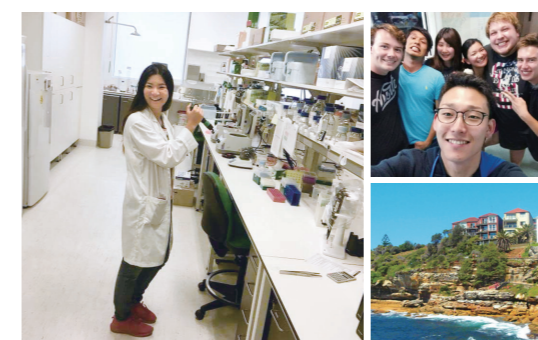
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|-----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|----|----|----|---|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 |
| 睡眠 | | 起床 朝食 身支度 | 登校 | | 研究 | 昼食 | | 研究 | | 夕食 | | 研究 | | 帰宅 | 自由時間 | | | 就寝 | |

困難を乗り越え、たくさんの優しさのお陰で充実した忘れられない留学となりました。



生命科学系研究科
博士前期課程1年(留学開始時)
中村 由紀子さん

派遣国 | オーストラリア
派遣大学 | オーストラリア国立大学
留学時期 | 2018年2月~5月



ワークライフバランスがはっきりした環境で“Work Hard, Play Hard”できた留学

寒さがまだ凍みる2月に、夏のオーストラリアへと出発しました。学生最後の博士前期課程の間に絶対留学すると決意し、ようやく夢が叶った瞬間でした。私の研究テーマは、光合成の観点から高温ストレスを受けた植物はどのように応答するのかを探ることで、指導教員からオーストラリア国立大学はその分野において、先端の分析機械が揃っており、多くの実績を残していること聞き、留学を決めました。出発前は、留学準備や手続き、ビザ申請や宿泊先探し等、やる事がたくさんありました。出発1週間前にビザが間に合い、無事出発することができました。

留学先での研究室はとてもメリハリがあって、勉強とプライベートがしっかり分けられていました。効率的に自分の研究に取り組んでいる様子が印象的でした。研究では、コムギの生育期間中に高温ストレスをかけ、光合成やそれに伴うさまざまなパラメーターを測定しました。機械の使い方、測定の仕方等すべてを完璧に理解することは、時間がかかりましたが、勉強し分らないことは指導教員に聞きに行く中で、少しずつ研究にも慣れていきました。同じ研究室にいた学生さんとは毎日ランチを一緒に食べたり、休日一緒に出かけたりしました。指導教員もフレンドリーな方で、キャンプに連れて行ってくれました。テントも使わないワイルドなキャンプもあり、自然豊かなオーストラリアならではの体験でした。

研究室外では校内サークルJAPAN CULBIに参加しました。日本に興味のある人が所属しているサークルで、カラオケナイト、焼き焼きパーティ、キャンプ等の企画が多くありました。ここでも交流の輪を広げることができました。

留学は楽しい経験になるだろうと胸を弾ませていましたが、自身の勉強不足を感じ、スピードの早い英語についていくだけで大変で、取り残されたような気分になりました。しかし、そんな私を気にかけてくれる人にもたくさん出会い、その優しさのお陰で充実した留学となりました。留学するには多くの労力、時間とお金がかかりますが、人生一度きり、やりたいと思うことに挑戦することは、今後の人生に大きな糧と自信につながります。

Schedule

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|---|----------|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---------|----|----|----|---|
| 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 0 | 1 |
| 睡眠 | | 準備 登校 | | 研究 | | 昼食 | | 研究 | | | | | | | 帰宅・自由時間 | | | 就寝 | |

東北大学からの留学

短期海外研修(SAPF)

海外体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

Double Degree Program

ダブルディグリー（共同教育）プログラム

東北大学と提携校の二つの修士レベルの学位取得を目指すプログラム

本プログラムの提携校はいずれも世界各国からエリートを集めて高度な教育を実施している高等教育機関です。将来世界を舞台に活動するために必要となる実質的な専門知識、研究能力、国際性、異文化対応力の養成が期待できます。ダブルディグリープログラムを成功させるには、まず、応募時から博士前期課程修了までを対象期間とした、授業履修・研究計画(学位論文との関連性を含む)を、東北大学での指導教員とよく相談しつつ構想することが肝要です。その上で、構想した授業履修・研究計画の達成に資する留学先大学・受入指導教員(研究室)を決定します。留学希望者、東北大学での指導教員、留学先大学での指導教員の3者において、構想した授業履修・研究計画の中でのダブルディグリープログラム参加の位置づけを明確にし、留学先大学での具体的な授業履修・研究計画を考案しましょう。その際は、留学先大学の英語での開講科目の数や、論文作成～審査～発表のスケジュール、両校間での単位互換の可能性等(これらは留学先大学や、受入指導教員の所属する研究科等により個別に定められているものです)について、よく確認しておくことが大切です。国立中央理工科学校とのダブルディグリープログラムでは、学部3年次の途中から渡仏し、国立中央理工科学校における5年間のプログラムのうち1年次及び2年次を履修します。帰国後は、本学学部4年次及び博士前期の課程2年を経て両校の学位を取得します。なお、国立中央理工科学校パリ校については、博士前期課程1年次に渡仏するプログラムもあります。国立応用科学院リヨン校、スウェーデン王立工科大学とのダブルディグリープログラム、及び清華大学との共同教育プログラムでは、本学の博士前期課程に進学後に留学し、提携校で授業履修や研究を行います。帰国後は、本学博士前期課程修了に必要な研究等を行った後、両校の学位を取得します。

ダブルディグリー（共同教育）体験レポート

急成長する中国でのチャレンジは自分自身の成長に繋がります。



工学研究科
博士前期課程1年(留学開始時)

小笠原 良介さん

派遣国 中国
派遣大学 清華大学
留学時期 2018年3月～
(2019年2月現在留学中)



▶ 滞在先について

留学生と現地中国人学生が2人組で共同生活をする大学内の寮に住んでいます。各個人の寝室、共有のトイレ・バス、ソファ付きの共有スペースがあります。寮の地下には、卓球台が設置された運動スペースがあり、よく夜に中国人ルームメイトと卓球をしています。寮内では、ウェルカムパーティやクリスマスイベント等もあり、現地学生に限らず、他国の学生とも交流の機会が豊富にあります。

目的を高く設定し、あえて困難へ立ち向かう

私は学部3年生の時、清華大学へ半年間留学した経験があります。その際、清華大学の学生の学習への貪欲さや、アプリでの電子決済等のIT分野における発展の速度に驚かされました。その経験から、ダブルディグリープログラムに参加し、近年中国で発展が著しい人工知能や画像処理を研究テーマに、清華大学にて学ぶことを決意しました。私が履修している授業の大部分は中国語で開講されており、私は他学生との会話も中国語を使うよう心がけています。授業が中国語で行われること、新しく学習し始めた分野であること、専門分野の発展が急速であること、現地学生が常に上を目指し学習していることから、少し気を抜くとすぐに置いていかれてしまう状況です。しかし、この困難へ立ち向かうことで、精神面・学習面ともに大きく成長できると信じています。

ダブルディグリーでより広く深い専門知識へ

私の場合、両大学で学ぶ内容に違いがあり、基礎的内容で苦労することがあります。その際は同じ授業のクラスメイトや研究室メンバーに教えてもらっています。一方で、自分が学習したことのある内容から応用できそうなものを紹介したり、別の視点から考えを発表したりする機会もあります。両大学で学んだ内容を足し合わせ、掛け合わせながら、学習・研究できるのはダブルディグリープログラムの強みだと思います。

グローバルマインドを養う

海外からは日本にいる時とは違った視点で物事が見えてきます。中国との間では、歴史認識にも違いがあります。私は、クラスメイトと日中間係に関する歴史資料館に行きました。そこでは、日本で学んだ歴史とは異なる歴史が記されており、互いに質問しあい、議論しました。相手の歴史を知ることは、日中間では特に重要なことだと思います。また、ルームメイトや他国の学生を交えて世界情勢について討論することもあります。それぞれの視点から物事を見ると違った考えがあり、正解はありません。相手の考えに興味を持ち、理解しようとすることは、グローバル化する社会に必要な能力であると思います。

Schedule



奨学金情報 | 東北大学基金グローバル海外留学奨励賞への応募が可能(▶ P37)

派遣地域・大学

フランス・国立中央理工科学校(Ecole Centrale)5校
国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)
スウェーデン・スウェーデン王立工科大学
中国・清華大学

期間

1年半程度

参加対象

一部の自然科学系博士前期課程に進学見込み又は進学が決定している学部生
(派遣先により派遣時期、対象学部・学科・専攻、応募要件等が異なる)

[各大学の募集時期と応募条件(予定)]

国立中央理工科学校

フランス

対象研究科 理学、工学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)2年次の10月～12月
学部(理、工)4年次の10月～12月(パリ校のみ)

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分なフランス語力及び英語力

派遣時期 学部3年次の8月頃
博士前期課程1年次の8月頃(パリ校のみ)

国立応用科学院リヨン校

フランス

対象研究科 理学、工学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)4年次の10月～12月

語学要件 TCF 350

派遣時期 博士前期課程1年次の8月頃

スウェーデン王立工科大学

スウェーデン

対象研究科 工学、農学、情報科学、環境科学

応募時期 学部(工、農)4年次の10月～12月

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分な英語力
(TOEFL ITP550, TOEFL IBT79, IELTS6.0(各5.0)以上)

派遣時期 博士前期課程1年次の8月頃

清華大学

中国

対象研究科 理学、工学(一部対象外の専攻あり)、情報科学、環境科学

応募時期 学部(理、工)4年次の10月～11月上旬頃

語学要件 授業履修・研究を行うのに十分な英語力

派遣時期 博士前期課程1年次の8月頃



学部・研究科主催のプログラム

グローバルラーニングセンターが主催するプログラムの他にも、学部・研究科が独自に留学プログラムを実施している場合があります。

経済学部・経済学研究科

研究・課題解決型海外短期派遣プログラム

| | |
|------|-----------------------------|
| 対象者 | 経済学部学生・経済学研究科の学生 |
| 募集人数 | 20～30名程度 |
| 派遣先 | 部局間協定校 |
| 派遣時期 | 夏季 8～9月、春季 2～3月 約2週間 |
| 単位 | 経済学部専門科目(2単位) |
| 問合せ先 | 経済学部・経済学研究科 国際交流支援室 (▶ P38) |



医学部

基礎医学修練

| | |
|------|---|
| 対象者 | 医学部医学科 3年生 |
| 募集人数 | 20～30名程度 |
| 派遣先 | 海外の大学・医学研究機関 |
| 派遣時期 | 8～1月頃(配属期間は年度により異なることがある) |
| 単位 | 医学部専門教育科目「基礎医学修練」(10単位) |
| 問合せ先 | 医学部教務課 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉ med-kyom@grp.tohoku.ac.jp |



高次臨床修練

| | |
|------|---|
| 対象者 | 医学部医学科 6年生 |
| 募集人数 | 20～30名程度 |
| 派遣先 | 海外の病院 |
| 派遣時期 | 4～9月頃(配属期間は年度により異なることがある) |
| 単位 | 医学部専門教育科目「高次臨床修練」(10単位) |
| 問合せ先 | 医学部教務課 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉ med-kyom@grp.tohoku.ac.jp |



工学部・工学研究科

学生国際工学研修

| | |
|------|----------------------------|
| 対象者 | 工学部・工学研究科の学生 |
| 募集人数 | 15名程度 |
| 派遣先 | 海外の学術交流協定校等(年により異なるが、主に欧州) |
| 派遣時期 | 9月中旬頃(1週間程度) |
| 単位 | 工学部専門教科科目「国際工学研修」※申請による |
| 問合せ先 | 工学部・工学研究科 国際交流室 (▶ P38) |



※ここに紹介するプログラムはあくまで一例であり、実施の有無及び内容は変更となる可能性があります。
※プログラム内容や応募方法等の詳細は、各担当係に直接確認してください。

留学のための各種サポート／留学相談・情報収集

▶ 全学生対象のサポート

★…留学相談 ●…説明会等 ◆…情報配信

グローバルラーニングセンター ▶ P38

★留学アドバイジング

要予約

グローバルラーニングセンターが主催する各種プログラムや海外留学全般に関するさまざまな疑問に、国際経験豊かなグローバルラーニングセンター教員がお答えします。留学に興味はあるけれど不安がある場合や、海外留学プログラムや留学に関する最新情報を得たい場合等、お気軽にご連絡ください。

| | |
|------|---------------------------------|
| 実施日 | 週5日 ※曜日毎に担当教員が異なる |
| 予約方法 | 希望日の3日前(土日を除く)までにメール送信(詳細はHP参照) |
| 場所 | 川内北キャンパス 教育・学生総合支援センター西棟3階 各教員室 |

| 曜日 | 時間帯 | アドバイザー | 主な担当 | メールアドレス |
|----|-------------|--------|-------------|------------------------------------|
| 月 | 12:00～14:00 | 末松 和子 | 北米地域 | kazuko.suematsu.a3@tohoku.ac.jp |
| 火 | 11:00～13:00 | 高橋 美能 | 欧州地域 | mino.takahashi.c3@tohoku.ac.jp |
| 水 | 11:00～13:00 | 坂本 友香 | 北欧地域 | yuka.sakamoto.a3@tohoku.ac.jp |
| 木 | 11:00～13:00 | 渡部 由紀 | アジア・オセアニア地域 | yuki.watabe.c6@tohoku.ac.jp |
| 金 | 12:00～14:00 | 粕壁 善隆 | COLABS | yoshitaka.kasukabe.c3@tohoku.ac.jp |

▶ アドバイザーからのメッセージ

北米地域担当 末松 和子

アメリカの広大なキャンパスで、最先端の教育・研究に触れ、活発なキャンパスライフを送りたい人にお勧めです。世界共通言語の英語の習得はもちろん、さまざまな文化背景を持つ人たちと切磋琢磨することで、多様な価値観とコミュニケーション力を身につけることができます。将来、グローバル社会で活躍したい人、英語を使って仕事をしたい人、北米留学を検討してみてください。なお、東北大学の北米協定校の多くが、TOEFL iBTやIELTSを語学要件にしているため、計画的に準備を進めてください。

欧州地域担当 高橋 美能

欧州協定校の学部の授業は、現地の言語で開講される場合が多いですが、ドイツの大学のように、英語で開講される科目がある場合もあります。また、大学院では英語で研究を行うことができる大学も増えてきています。イギリスの大学へ留学を希望する場合は、IELTSの受験が必須となりますので注意してください。欧州の協定校への留学は、現地の言葉で学びたい人はもちろんのこと、ヨーロッパの国々を旅し、体験したい人、ヨーロッパの価値観を学びたい人にお勧めです。

北欧地域担当 坂本 友香

東北大学は、フィンランドの4大学(アアルト大学、オウル大学、タンペレ大学、トゥルク大学)、スウェーデンの5大学(ウーメオ大学、ウプサラ大学、王立工科大学、ストックホルム大学、チャルマース工科大学)と協定を締結しています。北欧の大学の特色は、英語開講科目が多いこと、ディスカッション、グループワークを通して学生が主体的に学ぶことです。北欧の協定校は、教育や福祉、工学等について英語で学びたい方、英語が標準的に通じる環境で留学生活を送りたい方にお勧めです。

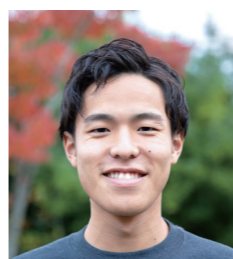
アジア・オセアニア地域担当 渡部 由紀

日本の若者の内向き志向が問題視されていますが、アジアで学び、働く日本の若者の数は近年増加傾向にあります。東北大学は巨大な世界の成長センターである中国・インド、ASEAN地域の発展をリードするシンガポール・タイ・インドネシア・ベトナム、日本の中小企業の進出が進むスリランカ、そして東アジアに位置し深い交流関係を築いてきた韓国・台湾・モンゴルに協定校があります。また、地理的にアジアと近く、さまざまな面で関係性の強いオーストラリアとニュージーランドでは、世界大学ランキングトップ100の4大学と協定を結んでいます。21世紀はアジアの時代と言われてます。躍動するアジアで、その国のトップ大学の学生と共に学ぶ留学を是非考えてみてください。

COLABS担当 粕壁 善隆

自然科学系短期共同研究留学生派遣プログラム(COLABS)という研究中心プログラムをご存知ですか。大学院進学が決まった学部学生、大学院生が、研究スケジュールに合わせて研究派遣留学をすることができるプログラムです。COLABSに限らず、大学院国際共同教育での学位取得留学、自然科学系で研究中心の留学を考えている人、特に海外協定校の研究室でワールドクラスの研究者と共同研究し飛躍しようと考えている人は、是非、相談してください。

▶ 留学アドバイジング 体験レポート



工学部
学部3年
勝山 湧斗さん

漠然としていた留学目的が明確に!

私は、入学時から留学したいと強く思っていました。具体的などのような留学にしたいのか明確ではありませんでした。そこで留学アドバイジングを利用しました。アドバイザーの先生方は「私がなぜ留学したいのか・留学を通して何を学びたいのか」を深く掘り下げてくれました。それだけではなく、それを実現するための理想的な留学先の提案してくれました。また、「海外の大学院に行きたい!」と漠然と思っていた私に、適切な情報を提供していただき、将来の幅を広げていただきました。漠然と「留学行きたい!」と思っているけれど留学する目的が見つけれない人や、海外大学院を目指したい人は、是非利用してみてください!

東北大学からの留学

短期海外研修(SAPFL)

海外体験プログラム

交換留学プログラム

大学院生派遣プログラム

学部研究科主催のプログラム

留学のための各種サポート

学内で国際交流

国際交流・留学サポート

▶ 全学生対象のサポート ★…留学相談 ●…説明会等 ◆…情報配信

グローバルラーニングセンター ▶ P38


★GCS留学カウンセリング 要予約

交換留学等の留学経験を持つ現役学生、「グローバルキャンパスサポーター(GCS)」が、実際の留学生活や申請方法、留学後の就職活動や進路等の質問・相談にお答えします。

予約方法 グローバルラーニングセンターHPで要確認 www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/preparing/gcs/

場所 川内南キャンパス 図書館本館1号館2階グローバル学習室(青葉山キャンパスでの対応も可)

▶ GCSカウンセリング 体験レポート



経済学部
学部3年
野々村 友樹さん

私がGCSのカウンセリングを受けたきっかけは、グローバルラーニングセンターの教授との留学アドバイジング中に推薦されたことでした。私の行きたい大学は枠も狭く倍率も高かったことから、主に学内選考における書類のブラッシュアップに関するアドバイスを頂くために利用しました。そこでは、志望動機の掘り下げや、曖昧で抽象的な言葉を具体化する手助けをして頂き、その過程の中で留学への思いがより明確なものになりました。また、留学経験済みの先輩からのリアルかつ刺激的な話を聞くことは、当時私が持っていた留学への狭い視野を広げてくれるものであり、留学におけるモチベーションを向上させてくれました。結果、第一志望の大学にも合格することができ、信頼性は私のお墨付きです。これから留学する、留学を悩んでいる人は、一度連絡をとってみたいはどうか。必須ではないかもしれませんが、必ず自分にとって有意義で貴重な機会になると思います。

- 東北大学留学フェア ～海外留学応援月間～ 5月
毎年5月を「海外留学応援月間」とし、海外留学や語学学習等に係る各種説明会を連日開催します。
- 交換留学説明会&交換留学帰国者報告会 5月、10月
東北大学と大学間学術交流協定を結んでいる海外の大学(協定校)への交換留学について、制度の概要や応募の方法、協定校の選び方、学内サポート等の情報を提供します。また、世界中の協定校への交換留学から帰国した学生による報告会も同時に開催します。交換留学経験者の体験談を直接聞き、自身の参考にすることができます。
- SAP(スタディアブロードプログラム)・FL(ファカルティレッドプログラム)募集説明会 5月、10月
夏(8・9月)及び春(2・3月)の参加者募集にあわせ、応募受付期間に各プログラムの概要を紹介する説明会を開催します。
- SAP(スタディアブロードプログラム)・FL(ファカルティレッドプログラム)報告会 4月、10月
2019年2・3月に実施された、SAP9プログラム(アメリカ、カナダ、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド、イギリスにて実施)、FL4プログラム(ドイツ、スペイン、オーストラリア、ロシアにて実施)の参加者から下記の日程にて体験談を聞くことができます。ご興味のある方は、是非ご参加ください。
日時 SAP:4月17日(水)、18日(木) FL:4月19日(金) 各日18:30~20:30
場所 グローバルラーニングセンターHPに掲載予定
- グローバルラーニングセンターで開催しているその他の説明会 随時
本学の大学間協定校からゲストをお迎えし、大学の概要、学校生活についてお話をいただきます。2018年度は、メリランド大学(アメリカ)、ペイラー大学(アメリカ)、ウプサラ大学(スウェーデン)、ヨーク大学(イギリス)等の留学説明会を開催しました。また、ここ2年程は通常の留学説明会の他に外国人留学生と東北大学交換留学経験者が、海外大学や留学の魅力伝える交流イベント「留学フェア」を開催し、海外留学に興味のある方、外国人留学生と交流したい方等たくさんの方にご参加いただいています。開催する説明会は毎年変更の可能性が有ります。開催情報は所属の教務係、又はグローバルラーニングセンターHPで各自収集を行ってください。どれも事前登録は不要ですので、留学に興味がある方は是非お気軽にご参加ください。
www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/news/application/



▶ 各学部・研究科のサポート ★…留学相談 ●…説明会等 ◆…情報配信

文学部・文学研究科 文学部・文学研究科教務係 ☎022-795-6005 ✉art-kyom@grp.tohoku.ac.jp

★留学カウンセリング 要予約

留学全般について知りたいことが教職員が答えています。また、カウンセリングを受けた方を対象に、留学関係書類の添削(推薦状の下書きや志望動機書・研究計画書について、専門分野に立ち入らない範囲で、一般的な添削)を行います。

予約方法 メールタイトルを「留学相談」とし、下記項目を記入の上、文学部・文学研究科教務係宛てにメールで申し込み
①相談内容概略②氏名③学年④電話番号 ※携帯メールは受信できない場合があります。

法学部・法学研究科 国際交流支援室 ▶ P38

★留学相談 要予約
留学相談を受け付けています。 予約方法 メール送信

● 留学報告会・交流会 不定期
留学から帰国した学生と留学希望の学生との情報交換等のために海外留学交流会を実施しています。実際に留学を体験した学生から留学先での学修・生活等に関する話を聞くことができます。

◆メールでの情報発信
国際交流支援室からの留学関連の情報の発信と、留学を希望する学生の皆さん・現在留学中の方・留学から帰国した学生の皆さんの間での情報の共有を目的としたメーリングリストを開設しています。
メール配信登録方法 メールタイトルを、「国際交流支援室ML参加希望」とし、下記項目を記入の上、国際交流支援室宛てにメールで申し込み
①氏名 ②学籍番号 ③配信を希望するメールアドレス

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P38

★留学相談 要予約
留学経験者の報告書等を参考に、留学計画書を作成し、留学相談を行っています。 時期 火・水・木曜日 予約方法 メール送信

● 部局間留学説明会 春・秋
グローバルラーニングセンター主催東北大学留学フェア(▶P31)実施期間(5月)に1回、秋季に2回留学説明会を開催し、留学を奨励しています。

● 研究・課題解決型海外短期派遣プログラム説明会 春・秋
大学間や部局間で行われる、短期派遣プログラムの説明会及び留学報告会を行っています。

● 留学と就職 夏
留学経験を活かし、就職活動を行ったグローバル企業内定者による、留学中の英語上達法、コミュニケーションのとり方、インターンシップ等の体験談を報告しています。

国際交流オアシス ▶ P38

◆メール・Facebook・HPでの留学情報発信
海外留学経験学生によるガイダンス・留学報告会等、最新情報をHPやメールで配信しています。
メール配信登録方法 Facebookページより申請 <https://www.facebook.com/国際交流OASISInternational-Oasis-1492773230751029/>

理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT) ▶ P38

★留学相談 予約不要
各種プログラム等による海外留学に関する情報提供・相談を行っています。

医学部・医学系研究科 学部教務係 ☎022-717-8009 ✉med-kyom@grp.tohoku.ac.jp

● 海外留学報告会
医学科3年次対象の基礎医学修練(▶P29)、同6年次対象の高次医学修練(▶P29)によりアメリカ、カナダ、フィリピン等に短期海外留学をした学生による英語での報告会を行っています。

工学部・工学研究科 国際交流室(IEED) ▶ P38

★留学アドバイジング 要予約
留学や海外研修プログラムに関する相談を受け付けています。
予約方法 国際交流室HPオンライン予約フォームから申し込み

● 工学部・工学研究科留学説明会 6月、11月
留学制度や手続き、大学の選び方、費用、単位互換等、幅広い情報を提供しています。留学体験者による留学生活・体験談の発表もあり、希望者は個別に話を聞くこともできます。

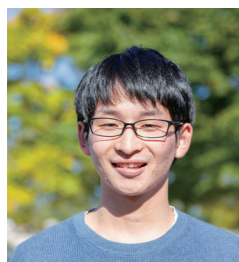
◆メール・Facebook情報配信
留学、国際交流イベント等に関する最新情報を配信しています。
メール配信登録方法 メールタイトルを「メーリングリスト加入希望」とし、下記項目を記入の上、工学研究科国際交流室宛てにメールで申し込み又は来室 ①氏名 ②学籍番号 ③学部・研究科、学年 ④メールアドレス

東北大学からの留学
短期海外研修SAP・FL
海外体験プログラム
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部研究科主催のプログラム
留学のための各種サポート
学内で国際交流
国際交流・留学サポート

TEA Tohoku University English Academy

東北大学ではより積極的に海外留学に挑戦し、グローバルに活躍できる人材を育成するため、TEA (Tohoku University English Academy)を設置しました。課外英語学習プログラム (TEA's English) や、英語学習アドバイジング、TOEFL ITP®、TOEFL iBT®等の英語能力試験の受験機会を提供しています。TEA's Englishでは、Speaking、Writing、Listening、Readingの4技能を向上させ、実践的な英語を身につけることを目的としたTEA's English学期内プログラムと、長期休業期間中に短期で集中的に英語を学習するTEA's English集中プログラムを開講しています。詳細は、グローバルラーニングセンターHPで確認してください。

TEA's English 体験レポート



工学部
学部3年 (プログラム受講時)
三浦 耀平さん

2018年前期学期内プログラム
2018年5月～7月

少しでもTEA's Englishに興味がある方には、是非講義を受けてみてほしいです。私が参加したTEA's English学期内プログラムは週2回1コマ90分の授業が10週間ありました。授業では、グループでのプレゼンテーションやアカデミックな内容のライティング、文法の復習等を行いました。この中で特に印象に残ったものは、グループプレゼンテーションでした。私たちのクラスでは、一人最低4分間英語でプレゼンテーションをするというものでした。私は英語のプレゼンテーションの作り方、質問の対応等にまったく慣れていなかったため、4分間というのは練習としてはとても良い機会だったと思います。また、その他のTEA's Englishの良い点は、自分とまったく専攻も学年も違う人とコミュニケーションをとれることだと思います。いろいろな人と英語で話すことで、自分の英語力のなさを実感するとともに良い機会となり、語学力向上の動機付けとなるかもしれません。



文学部
学部2年 (プログラム受講時)
松谷 凌雅さん

2018年夏季集中プログラム
2018年9月

TOEFL iBTの点数を上げたいという理由で、2017年度の後期プログラムから受講し始めました。以来4期連続で受講し続けています。ネイティブスピーカーの講師相手に実際に英語を使う、そして講師とのコミュニケーションを通じて「生きた英語」を吸収できる、これがTEA's Englishの魅力です。授業ではリーディング、グラマー、リスニングの勉強もしますが、重きを置いているのはプレゼンテーションとエッセイライティングです。また、座って講師の話の聞いているだけの授業ではないので、自分から積極的に発言することが求められます。僕自身、授業を通して、英単語や文法を「知っている」レベルから「使える」レベルへと着実に引き上げることができていると実感しています。実践的な英語力を伸ばしたいなら、TEA's Englishを受講することが最適な選択だだと思います。講師は一人一人の思いにしっかり応えてくれます。留学したい、将来は英語を使って仕事がしたい、という方は是非受講してみてください。

TOEFL® テスト

TOEFLスコアは、各種海外留学プログラムや語学学習講座等に応募する際に必要となる場合があります。これらの参加を検討している方は是非早めに受験してください。

TOEFL ITP® テスト

1 全学生対象有料受験

対象者 全学生 (非正規生を含む) 受験料 3,660円
申込方法 グローバルラーニングセンターHPよりオンライン登録
実施予定日 年4回:5月14日(火)、8月予定、10月9日(水)、1月15日(水)

2 学部新入学生全員対象の無料受験

対象者 学部新入学生全員 受験料 無料 (大学負担)
実施予定日 4月20日(土) 申込方法 入学後に掲示等で案内があります

3 英語授業の一環としての無料受験

対象者 全学教育科目「英語B2(-1/2)」受講者全員 受験料 無料 (大学負担)
実施予定日 11月30日(土) 申込方法 掲示及び授業内で案内があります

TOEFL iBT® テスト

対象者 全学生 (非正規生を除く) 受験料 235USドル (2019年2月現在) ※予告なく変更となる場合あり
実施予定日 年3回:5月18日(土)、6月1日(土)、9月28日(土) 申込方法 オンライン登録のうえ受験料納入 (クレジットカードのみ)

※TOEFL、TOEFL ITP、TOEFL iBT 及び TOEICはエデュケーションナル テスティング サービス (ETS)の登録商標です。

グローバルラーニングセンター ☎022-795-7820 ✉sab_query@grp.tohoku.ac.jp 🌐www.insc.tohoku.ac.jp ▶P38

TEA 英語学習アドバイジング

要申込

英語力を伸ばすための学習方法アドバイスをELSの講師から個別に受けることができます。詳細はグローバルラーニングセンターHPをご覧ください。ELS...1961年から北米を中心に多数の学校を運営する実績を持ち、世界中の留学生に多彩なプログラムを提供している語学学校

Global Café

申込不要

外国人留学生が先生となって教える語学と文化のミニ講座 (英語・タイ語・インドネシア語・ドイツ語・中国語等の言語で実施)

開講 グローバルラーニングセンターHPで要確認 場所 川内南キャンパス 図書館本館1号館2階 グローバル学習室

国際交流オアシス

国際交流支援室 (DIEE) ▶P38

HIRUDESUYO

申込不要

毎週月～金のお昼に開催。異文化交流の場として、毎週テーマを決め (例:ドイツフェスタ・日本文化体験・日本語でおしゃべり) お昼を食べながら、交流を行います。

開講 前期:4月～7月、後期:10月～2月 対象 全学生

TOEIC対策コース

要問合せ

毎週火曜日4時から、TOEIC対策講座を開講しています。コース学習形式にしており、全10回でコース修了となります。

開講 前期:4月～7月、後期:10月～3月 対象 学生・教職員

工学部・工学研究科

国際交流室 (IEED) ▶P38

English Communication

要申込

英会話、英語でのコミュニケーションにおいて重要な会話の始め方や終わり方、相槌、意見の述べ方等、さまざまな状況下で役立つネイティブ表現、発音矯正を含めたブラッシュアップを目指します。継続して出席することで着実に英語を使うことへの自信が養われます。

開講 前期:4月～7月、後期:10月～1月 対象 全学生 (自然科学系の学生優先)

申込方法 国際交流室HPオンライン申請フォームから申込

農学部・農学研究科

教務係 ☎022-757-4007 ✉agr-kyom@grp.tohoku.ac.jp

Agriculture TGL Panch

申込不要

TGL登録学生が外国人留学生と共に昼休みの時間を利用して、ネイティブ講師の指導のもとで、積極的な英語のみによるコミュニケーションの中で多様な話題を通して、外国人との関係を築く能力を身につける週1回のイベント

開講 前期:4月～7月 (予定)、後期:10月～1月 (予定) ※開催時期の詳細は、掲示板等にて4月以降にお知らせ

学習支援センター (SLAサポート室)

☎022-795-3374 ✉sla-support@grp.tohoku.ac.jp 🌐sla.cls.ihe.tohoku.ac.jp

SLA de 英会話 ～「英会話カフェ」&「1on1英会話」～

予約不要

留学生・日本人の学生アドバイザー (Student Learning Adviser: エスエルエー) が、気軽に英語に親しむことができる機会を提供
●英会話カフェ...複数人で英会話を楽しむタイプの会で、SLAが会をコーディネート
●1on1英会話...マンツーマンで、利用者のニーズに応じた英会話

開講 授業期間中毎日 (時間は学期ごとに異なる) 対象 主に学部1・2年生 (学部不問) 参加費 無料

場所 川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟1階 SLAラウンジ

▶ 海外からの学生との交流

100の国と地域から約2,250名の外国人留学生在が学ぶキャンパス

海外から多くの研究者や学生を受け入れている東北大学には、海外に行かずとも多文化を体験できる機会があふれています。学内で開催されるさまざまな国際交流行事を通し、外国人留学生等と交流を深めることができます。

| | |
|---|---|
| グローバルラーニングセンター ▶ P38 | |
| Tohoku University STEM Summer Program (TSSP) ボランティア Tohoku University Japanese Program (TUJP) ボランティア 海外の協定校の学部生が参加するサマープログラムにおける、文化交流、地域社会との連携活動 | TSSP:2019年6月17日～7月12日 TUJP第1期:2019年7月1日～7月16日 TUJP第2期:2019年7月22日～8月6日 |
| 募集 5月頃 窓口 ☎022-795-3745 ✉tujp@grp.tohoku.ac.jp | |
| 法学部・法学研究科 国際交流支援室 ▶ P38 | |
| 外国人留学生との交流会 不定期 大学院生を対象とした、外国人留学生との交流会。大学院レベルでの研究等に関する意見や情報の交換をすることができます。 | |
| 経済学部・経済学研究科 国際交流支援室(DIEE) ▶ P38 | |
| 国際交流イベント フィールドトリップ:秋(年1回) 外国人留学生との国際交流推進イベントと文化体験活動 交流会:随時 | |
| 留学生相談デスク 毎週月・金曜日(12時～14時まで) 学業や人間関係、異文化適応等留学のさまざまな相談に応じています。 | |
| 理学部・理学研究科 国際交流推進室(DIRECT) ▶ P38 | |
| 留学生サポーター 9月下旬～10月上旬 10月に英語プログラムに入学する外国人留学生の受け入れ支援 | |
| 歯学部・歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター国際連携部門 ▶ P38 | |
| 留学生懇談会 4月下旬、10月下旬 歯学部・歯学研究科で学ぶ世界各国からの外国人留学生在が中心となって企画する学生、教職員等との懇談会 | |
| 短期受入留学プログラム 適宜 海外の協定校から学生を招いて長期休業期間中に実施するショートプログラム(1～8週間程度)の運営補助等 | |
| 被災地実地研修プログラム 不定期 歯学部・歯学研究科の外国人留学生及び日本人学生を対象とした東日本大震災被災地での実地研修 | |
| 工学部・工学研究科 国際交流室(IEED) ▶ P38 | |
| Tohoku University Engineering Summer Program (TESP) 7月下旬～8月上旬 海外の交流校から学生を招き、2週間のサマープログラムを開催しています。学生交流ボランティアは、参加学生をサポートすると共に、文化体験やフィールドトリップと一緒に参加することができます。詳細は6月頃に工学研究科国際交流室HP及びFacebookで発表します。 | |
| 申込方法 国際交流室HPオンライン申請フォームから申し込み | |
| 国際交流イベント 餃子パーティー、手巻き寿司パーティー等、一緒に作りながら飲食することで留学生と日本人学生の交流が深まる機会です。英語で作り方を説明したり、留学生に日本語を教えたりと、手を動かしながらの協働でネットワークが広がります。 参加費 500円前後 不定期 | |
| 国際交流の旅 外国人留学生・研究者等を対象とした東北の隣県又は県内への日帰り旅行への同行(英語で各名所や文化の説明) 参加費 2,000円以下(昼食代) 2月頃 | |
| 国際工学活動クラス 前期:4月～7月 後期:10月～1月 留学生の日本語クラスにて、紙飛行機やモーター等簡単な工作を通し、グループディスカッション、発表、コンペ等を行う、共修クラスです。海外の工学者の工学に対するアイデアや姿勢を学ぶと同時に、留学生の視点に立った日本語の難しさを認識します。多国籍な仲間と作品を作りあげる、という達成感を味わうことができます。 | |
| 申込方法 国際交流室HPオンライン申請フォームから申し込み | |
| 農学部・農学研究科 教務係 ☎022-757-4007 ✉agr-kyom@grp.tohoku.ac.jp | |
| 留学生交流会 不定期(年複数回) 外国人留学生の企画による芋煮会、文化交流教養セミナー等の各種イベントを通じて、外国人留学生同士や日本人学生との交流を促進 | |
| Friends for Lunch 平日の昼休み(12～13時) ※開催時期の詳細は、掲示板等にて4月以降にお知らせ 毎日昼休みの時間帯に、Agriculture TGL Panchと同じ会場に外国人留学生と日本人学生が昼食を持って集まり、カジュアルな英会話による交流を楽しむランチタイム | |
| 国際文化研究科 教務係 ☎022-795-7556 ✉int-kkdk@grp.tohoku.ac.jp www.intcul.tohoku.ac.jp | |
| 国際文化研究科国際交流の集い 秋～冬頃 国際交流への理解を深め、国際文化研究科内の交流を促進するための、外国人留学生、日本人学生・教員・職員の交流会 | |
| 募集 適宜(実施日の1ヶ月前頃) | |



▶ 東北大生による国際交流活動団体

学生が中心となって活動する語学や国際交流に特化した活動団体

グローバルキャンパスサポーター(GCS)

団体概要 交換留学等の留学経験を持ち、留学先で得た経験や知識をもとに、これから留学を目指す学生を支援する学生サポーターです。グローバルラーニングセンターと協働し、学生の視点でさまざまな留学支援活動・国際交流イベントを実施しています。

活動内容 GCS留学カウンセリング(▶P31)、留学希望者・経験者との座談会、留学説明会等イベントにおける体験談発表・運営補助等

☎www.insc.tohoku.ac.jp/japanese/preparing/gcs/ 📱www.facebook.com/GCS.tohoku

留学生支援団体 IPLANET

団体概要 人文・社会科学短期留学生受入プログラム「IPLA」の学生の留学生生活を支える学生団体です。イベント企画・運営に加え、外国人留学生に対する1年を通じての日常的なサポートが主な役割です。メンバーが主体となってゼロから企画を練り、活動を創り上げています。

活動内容 各種イベント(料理教室、日本文化体験、日帰り旅行、歓迎会、お別れ会等)及びGlobal Café(▶P34)の運営
一対一で外国人留学生の学習や生活を援助(チューター)

✉tohoku.ipla@gmail.com 📱www.facebook.com/iplanet.tohoku/

TUFSA・東北大学留学生協会(Tohoku University Foreign Students Association)

団体概要 東北大学留学生協会とは、外国人留学生と日本人学生の交流を中心に活動する団体です。TUFSAは、1965年に設立され、2018年に結成53周年を迎えました。外国人留学生と日本人学生の架け橋となるために日々活動を行っています。多様な文化に触れ、さまざまな価値観を共有したい方を募集しています!

活動内容 留学生の勉学や生活面におけるサポート、学内の国際交流推進、市民活動への参加、毎月のニュースレターの配信、各種イベントの企画・運営(東北大学国際祭り※、新入生歓迎会、ダンスパーティー、パディプログラム、スポーツ大会、チャリティ活動等)

※東北大学国際祭り:一般市民の方々も参加する大きなイベントで、世界各国の伝統料理や伝統舞踊の紹介、異文化体験コーナー等さまざまな催しを実施しています。2019年5月12日(日)に川内南キャンパス東北大学百周年記念会館(秩ホール)前広場で開催予定です。

✉tufsacontact@gmail.com ☎www.tufsa.net/ 📱www.facebook.com/tufsafanpage 📷www.instagram.com/tufsa_official/

TUMCA・東北大学イスラム文化協会(Tohoku University Muslim Cultural Association)

団体概要 イスラム文化交流と友好関係の構築を目的に設立された団体です。多様なバックグラウンドを持った学生との交流により、イスラム教以外にもさまざまな国の独自文化を学ぶことができます。東北大学内の礼拝場やハラールフード等に関しても相談できます。

活動内容 イスラム文化を持った留学生及び日本人学生との交流

✉muslim.tohokuuniv@gmail.com 📱www.facebook.com/TUMCA

留学生支援サークル @home

団体概要 留学生と日本人学生が交流することのできる架け橋となることを目指し、日々活動している団体です。1ヶ月に2回から3回のイベント運営を行い、メンバー全員で国際交流を楽しんでいます。

活動内容 外国人留学生と日本人が交流できるイベント「International Hour(IH)」の企画、留学生の日本での生活の手伝い、仙台市内の国際交流イベントへの運営参加等

✉athome.web.123@gmail.com ☎www.insc.tohoku.ac.jp/~athome 📱www.facebook.com/athome.tohoku/

ESA-net (東北大学交換留学生同窓会)

団体概要 交換留学生同窓会はより多くの東北大学生に交換留学を経験してもらうために、経験者による関連情報の発信を行うことを目的として発足した団体です。

活動内容 留学準備から留学中、帰国後のキャリア支援までに関する情報発信/留学経験者、留学をしようとしている人たちの交流を目的としたイベントの実施/青葉山キャンパスを拠点とした留学相談等

Facebookにて留学情報を発信しています。「東北大学交換留学」で検索!

✉tohoku.exchange@gmail.com 📱www.facebook.com/tohoku.exchange

奨学金情報

東北大学の奨学金

東北大学基金 グローバル海外留学奨励賞

東北大学基金の事業として、海外の協定校等に留学する学業成績が優秀な学生を表彰すると共に奨励金を支給します。

- 支援内容 準備金15万～30万円、奨学金月額6～10万円 ※留学先地域により異なる
- 募集時期 年2回：4月下旬～5月（7月～12月留学開始）、9月～10月中旬（翌年1月～6月留学開始）
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

国際共同学位取得支援制度（国際共同教育プログラム）

海外大学との大学院レベルにおける国際共同学位（ダブルディグリー、ジョイントディグリー等）取得を奨励するための支援制度です。

- 支援内容 海外渡航旅費（実費）、奨学金月額10～20万円 ※在籍課程・留学先地域により異なる
- 募集時期 年5回：留学開始時期による
- 応募方法 所属・研究科の担当係に必要書類を提出
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

各部署の独自奨学金

海外留学をする学生を対象に、学部・研究科によっては独自の奨学金や支援金（旅費等）を支給する場合があります。 **問合せ先** 所属学部・研究科

政府・民間団体等の奨学金

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム

www.tobitate.mext.go.jp/

日本政府と民間企業が協働で取り組む海外留学支援制度は、2020年までに1万人を海外に送り出す計画です。日本再興戦略と産業界からの意向を踏まえて実践的な留学への奨学金を提供しています。派遣留学生は、事前・事後研修や留学中の体験、メンタリングを通じ、海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリストとして育成されます。帰国後は支援企業とともにグローバル人材コミュニティを形成し日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

- 支援内容 留学準備金15万又は25万円、奨学金月額12万円又は16万円 ※留学先地域により異なる
授業料30万円又は60万円 ※支援期間により異なる ※家計の状況により奨学金月額が異なる場合あり
- 募集時期 年2回：7月～10月（翌年4月～10月留学開始）、12月～翌年3月（翌年8月～翌々年3月留学開始）
- 応募方法 所属学部・研究科の担当係に確認
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

日本学生支援機構 海外留学支援制度（JASSO奨学金）

交換留学の推進と国際性を有する人材の育成を目的として、日本学生支援機構（JASSO）が支給する奨学金です。採用者には、留学期間中毎月奨学金が支給されます。奨学金受給者数及び対象者は、対象プログラムごとに異なります。

- 支援内容 渡航支援金16万円（一定の家計基準を満たす場合） 月額6～10万円（留学先地域により異なる）
- 対象プログラム 交換留学、短期海外研修（SAP/FL）、COLABS、海外体験プログラム、一部の部局主催プログラム等
- ※対象プログラムの参加者のうち、条件を満たす学生に支給するものであり、学生から申請できるものではありません。
※日本学生支援機構の貸与型奨学金「第一種奨学金」及び「第二種奨学金」との併給が可能です。
- 問合せ先 留学生課（▶P38）

各種奨学金団体等による奨学金

民間の財団等が、海外留学予定者に支給する奨学金は、特定の留学形態（大学院正規留学、交換留学、インターンシップ等）、国、期間、出身地に限定されている場合があります。応募に大学の推薦が必要な場合があります。大学宛に募集案内がある場合は、グローバルラーニングセンターHPIにてお知らせします。

- 過去募集例 ● 経団連グローバル人材育成スカラーシップ ● 大学宛に募集案内がない場合は、各自で情報収集及び応募が必要です。以下サイト等を参照してください。
● 業務スーパージャパンドリーム財団 派遣留学奨学生 ● TOMODACHI 住友商事奨学金プログラム ● 海外留学支援サイト ▶ 海外留学のための奨学金 ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/

トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム受給学生によるレポート

トビタテが留学の支えとなり、私を大きく成長させてくれました。



経済学部
学部4年（留学開始時）
菅原 悠希さん

派遣国 台湾
派遣大学 国立台湾大学
海外インターンシップ先機関 傳辰顧問股份有限公司
留学時期 2017年9月～2018年1月



誰にでも開かれたチャンス

私が考えるトビタテの魅力は以下の二つです。一つは言うまでもなく、手厚い金銭的支援。留学中、さまざまな活動に心置きなくチャレンジできたのも、トビタテの支援があったからです。経済的な事情で留学を渋っている人こそ、是非、トビタテでチャンスをつかんでほしいと思います。二つ目は、充実した選考過程と研修制度。多様な夢をもつ全国の大学生や、経験豊富な講師陣との刺激的な出会いが、自分の内面と向き合うきっかけとなりました。留学中、悩んだり行き詰まったりした時には、研修でブラッシュアップした留学計画を振り返ることで自分を鼓舞し、勇気づけていました。トビタテが、経済的にも精神的にも留学の大きな支えとなり、また、自分と向き合う大事なきっかけをくれました。トビタテに合格するチャンスは誰にでも開かれています。是非、思い切って一歩を踏み出し、自分にしかできない留学を実現してください。

学内の国際交流・留学サポートオフィス

グローバルラーニングセンター・留学生課

- ☎022-795-7820（交換留学他プログラム全般・語学学習及び語学試験関係）
- ☎022-795-4818（短期海外研修関係）
- ☎022-795-4817（TGL関係）
- ✉sab_query@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www.insc.tohoku.ac.jp



法学部・法学研究科 国際交流支援室

- 川内南キャンパス 法学部棟3階
- ✉kokusai@law.tohoku.ac.jp
- 🌐www.law.tohoku.ac.jp/global/support/

理学部・理学研究科 国際交流推進室（DIRECT）

- 北青葉山キャンパス 理学研究科合同A棟3階302号室
- ☎022-795-5829
- ✉direct@mail.sci.tohoku.ac.jp
- 🌐www.sci.tohoku.ac.jp/direct/

歯学部・歯学研究科 歯学イノベーションリエゾンセンター国際連携部門

- 星陵キャンパス 臨床研究棟1階
- ☎022-717-8278
- ✉international@dent.tohoku.ac.jp
- 🌐www.dent.tohoku.ac.jp/field/liaison/03/index.html

情報科学研究科 国際交流推進室

- 青葉山キャンパス 情報科学研究科棟3階
- ☎022-795-4691
- ✉ilo@is.tohoku.ac.jp
- 🌐www.is.tohoku.ac.jp/introduction/ilo/index.htm

経済学部・経済学研究科 国際交流支援室（DIEE）

- 川内南キャンパス 経済学研究科棟3階
- ☎022-795-7788
- ✉diee-keizai@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www2.econ.tohoku.ac.jp/~KKS/index.html

医学部・医学系研究科 国際交流支援室

- 星陵キャンパス 医学部1号館4階
- ☎022-718-5091
- ✉int-exchange@med.tohoku.ac.jp
- 🌐www.med.tohoku.ac.jp

工学部・工学研究科 国際交流室（IEED）

- 青葉山キャンパス 工学研究科中央棟2階
- ☎022-795-7996
- ✉ieed-eng@grp.tohoku.ac.jp
- 🌐www.ied.eng.tohoku.ac.jp

国際交流オアシス

- 文系総合講義棟1階
- ☎022-795-3270
- ✉international-oasis@econ.tohoku.ac.jp

東北大学からの留学
短期海外研修（SAP/FL）
海外体験プログラム
交換留学プログラム
大学院生派遣プログラム
学部研究科主催のプログラム
留学のための各種サポート
学内で国際交流
国際交流・留学サポート